

2023年度

# 教養教育履修案内

【2016年以前入学者用】

●休講・補講情報は「授業支援システム(LMS)」、「学生情報システム」のうち、いずれかの方法で伝えますので、必ず確認するようにしてください。



YNU授業支援システム(LMS)

<https://lms.ynu.ac.jp/>



学務情報システム

[https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu\\_portal/](https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/)

※「学生情報システム」は学務情報システムログイン後のトップページからアクセスしてください。

横浜国立大学

高大接続・全学教育推進センター

## ○目次

I. はじめに .....	2
1. 教養教育履修案内について .....	2
2. 学生への連絡方法について .....	2
3. 授業科目 WEB シラバスについて .....	2
II. 教養教育科目とは .....	3
1. 横浜国立大学の教育目標について .....	3
2. 教養教育科目の目的について .....	3
3. 教養教育科目の編成について .....	4
III. 全学教育システムの仕組み .....	6
1. 学期と授業時間 .....	6
2. 教養教育科目の履修の流れ .....	8
3. 教養教育科目の履修手続き .....	10
IV. 教養教育科目の履修方法 .....	11
1. 教養教育科目履修基準について .....	11
2. 教養教育科目の履修方法の一般的注意について.....	11
3. 教養コア科目の履修について .....	11
4. 情報リテラシー科目の履修について .....	19
5. 基礎演習科目の履修について .....	20
6. 授業科目名称変更等に伴う重複履修の禁止科目について .....	21
7. 開講形態相違等に伴う重複履修の禁止科目について .....	23
8. 外国語科目の履修について .....	24
9. 健康スポーツ科目の履修について .....	31
10. 留学生のための授業科目について .....	33
V. 教養教育科目の単位の認定 .....	35
1. 定期試験について.....	35
2. 定期試験の受験上の注意について .....	35
3. 追試験について .....	36
4. 授業科目の成績評価について .....	37
VI. 学外や海外における授業科目の履修等 .....	40
1. 修得単位の認定について .....	40
2. 放送大学・横浜市内大学間単位互換制度の履修について .....	40
3. 派遣留学先の授業科目の認定について .....	40
VII. YNU 学生ポートフォリオについて .....	41

## I. はじめに

### 1. 教養教育履修案内について

横浜国立大学は、2017 年度から都市科学部新設を含む学部教育改革と連動して全学教育システム改革を実施し、教養教育科目は全学教育科目に名称が変更になりましたが、その適用は 2017 年度入学者からとなります。

2016 年度以前の入学者は、当該入学した年度の履修基準が卒業まで変更なく、教養教育科目として適用されますので、入学時に配付された「教養教育履修案内」とともに、所属学部の履修案内（履修手引）により教養教育科目の履修基準（卒業に必要な修得すべき単位数）等を確認の上、履修計画を立ててください。

この冊子は、2016 年度以前の入学者が教養教育科目として授業を履修するにあたり、必要な情報を記載しています。不明な点や疑問があれば、独自に解釈せず、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

### 2. 学生への連絡方法について

休講・補講情報のメール配信サービスは、2017 年 3 月をもって終了いたしました。今後は、教養教育科目に関する学生への連絡は、「授業支援システム (LMS)>【連絡専用】教育企画課全学教育係」、「所属学部の授業支援システム (LMS) 等」および「学生情報システム」のうちのいずれかの方法で伝えますので、日頃から確認する習慣を身につけてください。

この履修案内に変更が生じた場合も同様であり、連絡事項の見落としにより、授業のオリエンテーションを欠席したり、休講や教室変更の情報が得られなかったり、レポートの提出期限に遅れたりなど不利益が生じることがあります。大学生活において、学生自身の行動に責任を負うことが大学生として最低限のルールであり、学生自身の不注意により生じた不利益は自己の責任となります。

### 3. 授業科目 WEB シラバスについて

2017 年度から教養教育科目（教養コア科目）が全学教育科目（基礎科目）に移行されました。これら授業科目の履修主体が 1～2 年次であるため、授業科目 WEB シラバスは、2017 年度以降の入学者が理解しやすいよう表示されています。

2016 年度以前の入学者は、この冊子による「授業科目」を参照し、授業科目 WEB シラバスで履修希望科目を検索して授業概要（授業計画、履修目標・到達目標、成績評価の方法と基準、教科書・参考書等）を確認することになります。

WEB シラバスは「学務情報システム」→「シラバス検索」で確認してください。

## II. 教養教育科目とは

### 1. 横浜国立大学の教育目標について

本学は、専門性を基礎としつつ調和のとれた教育体系のもと、主体性と倫理性を養う豊かな教養教育を行い、少人数教育と実践的教育の伝統的な強みを活かしてグローバル新時代に求められる多様な視点を有する広い専門性を持った実践的人材を育成します。

特に、アジア等から多くの留学生が学び、留学生比率が高いという本学の特色をさらに強化し、国際性が豊かで、共生社会の構築に貢献する教育拠点を目指しています。

### 2. 教養教育科目の目的について

本学の教養教育は、実践性、先進性、開放性、国際性の4つの精神の下、次の4つの目標の実現を目指します。

1. さまざまな学問を主体的に学び、幅広い教養を身に付け、専門分野に必要な基礎学力を修得する。
2. 現代社会が直面する諸課題を論理的・批判的・創造的に考える力を養う。
3. 国際感覚を養い、異文化への理解を深め、コミュニケーション力を高める。
4. 人としてあるべき姿を自覚した倫理観と社会を構成する者としての責任感を育む。

本学ではこれらの目的を実現するために教養教育科目の構成において、そしてそれぞれの授業において、様々な方法を採用しています。ここでは上記の目的を実現するための施策に関する重要な「柱」について説明します。

#### (1) 幅広い教養の養成

＜多様な科目の設置＞教養教育の核となる教養コア科目を3つの科目群に分類するとともに履修の自由度を高め、学生が主体的に深く学習できるよう豊富な授業科目を設置しています。

#### (2) 問題解決のための多角的・総合的な視野の養成

＜相互関連性＞複数の授業科目を有機的に関連づけて、広い知識と多様な視点を与えることを重視しています。

＜総合科目の設置＞複数の学問領域にわたる授業科目（総合科目）を設置することによって、総合的な思考法を身につける機会を与えています。

#### (3) 専門科目との連携

＜くさび形教育の実施＞教養教育科目の受講を低学年に限定せず、専門科目の履修に合わせた教育を行います。

＜基礎演習科目の設置＞基礎・基本を重視しながらも、専門教育との有機的連携を図るため、低学年次向けの双方向・対話型の少人数教育の機会も提供する基礎演習科目を開講しています。

#### (4) 外国語教育の充実

＜少人数クラス制の推進＞効果的な外国語学習を行うため、少人数クラス編成を推進しています。

＜習熟度別クラス編成＞外国語能力を高めるために客観的な成績評価に基づいて習熟度別クラス編成を行い、個々の学生の習熟度に応じた外国語教育を行うことによって語学能力の効率的な向上を目指しています。

＜国際理解力＞国際感覚を養い、異文化理解を深め、国際的・学術的コミュニケーション能力の向上を目指しています。

### 3. 教養教育科目の編成について

本学で開講されている授業科目は、教養教育科目、専門教育科目及び国際交流科目に区分されています。教養教育科目は、教養コア科目、情報リテラシー科目、基礎演習科目、外国語科目及び健康スポーツ科目で構成され、専門教育科目は専門基礎科目及び専門科目で構成されています。

#### (1) 教養コア科目

教養教育科目の中心となる科目群である教養コア科目は、基礎学力、論理的思考力、情報処理能力、問題解決能力などを育成することを目指しています。

教養コア科目は次の3つの科目群から構成されています。

<基礎科目>人文社会系と自然科学系の各分野における基礎的な学力や技能を養う科目です。他の教養コア科目の基礎として位置付けられています。

<現代科目>社会との関連や現代の課題など、共通性の高い、広い教養を培うにふさわしい科目です。基礎科目の発展形として位置付けられています。

<総合科目>共通のテーマを異なる専門の複数の教員が担当する科目であり、多角的・総合的なアプローチを修得させることを目的としています。

#### (2) 情報リテラシー科目

情報化社会において必要不可欠な情報技術の利活用の方法を習得する科目です。コンピュータや特定のソフトウェアの使用法のみならず、情報機器とそれらの利用技術、及び倫理、法、マナーといった領域までをカバーし、情報化社会に生きる現代人としての最低限の教養の養成を目的とします。

#### (3) 基礎演習科目

基礎演習科目は大学での勉学の基礎となる知的思考能力を培うとともに、各学部、学科、課程の専門分野への橋渡しとなる授業です。それはそれぞれの専門分野への関心を高め、基礎的な問題解決能力を養うことを目的としています。それぞれの学部、学科、課程のカリキュラムに基づいて実施されており、専門性を念頭においた授業が行われています。

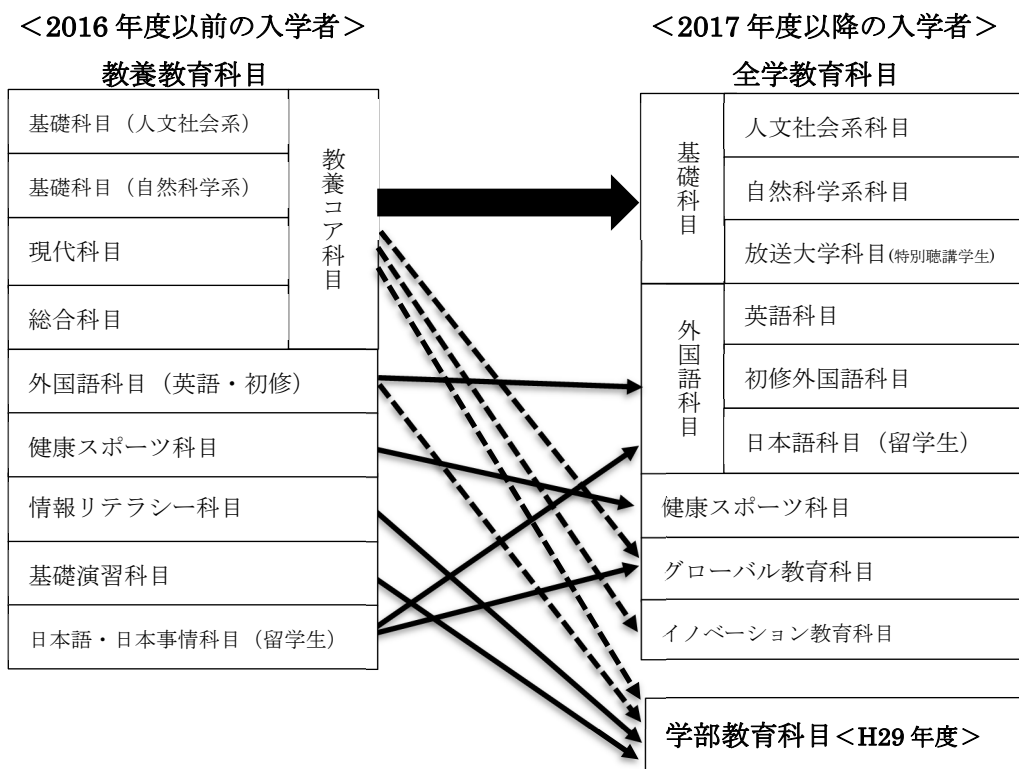
#### (4) 外国語科目

少人数クラス編成で、かつ客観的な成績評価に基づいた習熟度別クラス編成を行うことによって、各学生の到達度に応じた効果的な外国語教育を目指しています。また、外国語科目を「実習」と「演習」に複線化し、学生の多様な関心や意欲に応えることを目指しています。

#### (5) 健康スポーツ科目

健康スポーツ科目はスポーツに親しむことを通じ、一生を通じての心身の健康への関心を高め、心身のバランスのとれた学生を育成することを目標としています。

(6) 教養教育科目と全学教育科目の関係表



### Ⅲ. 全学教育システムの仕組み

#### 1. 学期と授業時間

##### (1) 2学期6ターム併用制について

2017年度の学事暦から、2学期6ターム併用制を採用し、授業科目はセメスター科目（学期科目）とターム科目となります。

セメスター科目は、1年間を春学期と秋学期の2つの学期に分け、休業期間を除く16週の授業期間で完結する科目設定です。

ターム科目は、1年間を6つのタームに分け、春学期授業期間（第1・第2ターム）、秋学期授業期間（第4・第5ターム）で開講し、講義科目の1単位は1ターム8週（2単位の場合は1ターム週2回8週）の授業期間で完結する科目です。

また、夏季休業期間（第3ターム）、春季休業期間（第6ターム）には、ターム科目の集中講義を開講する場合があります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
春学期						秋学期						
春セメスター科目				夏季休業期間		秋セメスター科目			休	春季休業期間		
第1ターム科目		第2ターム科目		第3ターム科目		第4ターム科目		第5ターム科目		第6ターム科目		

##### (2) 教養教育科目の授業科目について

教養教育科目の授業科目は、基本的にセメスター科目で開講され、春学期または秋学期に16週の授業期間で実施します。

ただし、理工学部・都市科学部が開講する教養教育科目（教養コア）の一部は、ターム科目1単位で開講されます。第1・第2ターム（春学期）または第4・第5ターム（秋学期）連続16週の授業期間で実施され、実質的にはセメスター科目と同様の授業期間となります。

例えば、生物の世界Ⅰ（第1ターム1単位）、生物の世界Ⅱ（第2ターム1単位）は2科目セット履修を奨励しますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

##### (3) 学事暦について

学事暦（前づけ）は、1年間の行事予定（入学式、定期試験や大学祭等）を次の記号で表示します。

無地（黒字） 授業を開講する日です。

灰地（黒字） 授業を開講しない日です。

太枠無地（黒字） 祝日において授業を開講する日です。

○囲み（黒字） 英語統一テストの実施日で1年生は原則として受験します。

黒地（白字） 定期試験期間です。なお、セメスター科目の場合、春学期前半（第1ターム）と秋学期前半（第4ターム）の試験期間は、通常どおり授業を行います。

灰地（白字） 定期試験期間の予備日です。なお、ターム科目の春学期前半（第1ターム）と秋学期前半（第4ターム）の試験の予備日は、あらかじめ設定されていないので、開講部局において別に定めます。

◇囲み（黒字） 授業振替日です。2023年12月26日（火）は金曜日の授業を実施します。

#### (4) 授業時間について

本学の授業時間は、以下のとおりです。

時 限	授 業 時 間
第1時限	8 : 5 0 ~ 1 0 : 2 0
第2時限	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
第3時限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
第4時限	1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0
第5時限	1 6 : 1 5 ~ 1 7 : 4 5
第6時限	1 7 : 5 0 ~ 1 9 : 2 0
第7時限	1 9 : 2 5 ~ 2 0 : 5 5

**Q : ターム科目をあまり見かけないのですが？**

A : 2 学期 6 ターム併用制は、2017 年度から導入し、ターム科目は都市科学部を中心に開講しています。したがって、現時点では都市科学部以外の学部では、あまり見かけない開講方法ですが、今後少しずつ開講されていく予定です。

**Q : 2 科目セット履修したターム科目「生物の世界 I・II」の第 1 ターム開講科目の単位は修得し、第 2 ターム開講科目の単位は落としましたが、どうすればいいですか？**

A : 教養教育科目のほとんどがセメスター科目 (16 週) ですが、ターム科目 (8 週) が一部存在します。教養教育科目のターム科目は「I・II」と 2 ターム連続して開講されるため、2 科目セット履修を奨励していますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

したがって、「不可」となった第 2 ターム開講科目のみを翌年度以降に再履修するか、履修を放棄するかになります。ただし、履修を放棄する場合は、GPA の計算上不利になるので注意してください。

また、教職課程の「教科に関する科目」の場合は、2 科目セット履修が義務付けられる場合がありますので、必ず確認してください。



## 2. 教養教育科目の履修の流れ

教養教育科目の授業開始・履修登録から定期試験までの流れは、次のとおりです。

① 授業開始日	
春学期	春セメスター／第1ターム : 2023年 4月 7日 (金) ~ 第2ターム : 6月 9日 (金) ~ 第3ターム (夏季休業期間): 8月 5日 (土) ~
秋学期	秋セメスター／第4ターム : 2023年10月 5日 (木) ~ 第5ターム : 12月 4日 (月) ~ 第6ターム (春季休業期間): 2024年 2月10日 (土) ~
② 履修登録期間 (土日は除く)	
春学期	春セメスター／第1・第2・第3ターム 2023年 4月 7日 (金) ~ 4月20日 (木)
秋学期	秋セメスター／第4・第5・第6ターム 2023年10月 5日 (木) ~ 10月18日 (水)
※履修希望学生が履修定員を上回る科目は授業開始第1週目または第2週目に「受講調整」を実施する。 ※第3ターム (夏季休業期間)、第6ターム (春季休業期間) の別に定める授業科目がある。	
③ 履修登録確認・訂正期間 (土日は除く)	
春学期	春セメスター／第1・第2・第3ターム 2023年 5月 8日 (月) ~ 5月10日 (水)
秋学期	秋セメスター／第4・第5・第6ターム 2023年10月23日 (月) ~ 10月25日 (水)
④ 履修登録キャンセル期間 (土日は除く)	
春学期	春セメスター／第1ターム 2023年 5月15日 (月) ~ 5月19日 (金) 第2ターム 2023年 6月26日 (月) ~ 6月30日 (金)
秋学期	秋セメスター／第4ターム 2023年11月 6日 (月) ~ 11月10日 (金) 第5ターム 2023年12月11日 (月) ~ 12月15日 (金)
※第3ターム (夏季休業期間)、第6ターム (春季休業期間) は別に定める。	
⑤ 定期試験期間	
春学期	第1ターム 2023年 6月 2日 (金) ~ 6月 8日 (木) 春セメスター／第2ターム 2023年 7月28日 (金) ~ 8月 4日 (金)
秋学期	第4ターム 2023年11月27日 (月) ~ 12月 1日 (金) 秋セメスター／第5ターム 2024年 2月 1日 (木) ~ 2月 8日 (木)
※第3ターム (夏季休業期間)、第6ターム (春季休業期間) は別に定める。	

### (1) 履修登録・履修登録期間について

履修登録とは、その学期 (セメスター科目・ターム科目) に履修しようとする授業科目を登録する手続きをいいます。

履修登録は、春学期と秋学期の各学期に分けて行います。また、ターム科目の履修も同様に学期ごとに行い、例えば第1ターム、第2ターム、第3タームに履修する授業科目は春学期履修登録期間に科目登録を行います。

学期	履修登録対象科目
春学期	通年科目、春セメスター科目、第1ターム・第2ターム・第3タームに開講する科目
秋学期	秋セメスター科目、第4ターム・第5ターム・第6タームに開講する科目

履修登録は、学部指定のパソコン教室や自宅等からWeb上の「学務情報システム」にログインし、「履修登録期間」内に必ず手続きを終える必要があります。

なお、学務情報システムの操作方法は「学生便覧」を参照してください。

## (2) 履修確認・訂正期間について

履修確認・訂正期間には、履修時間割表を各自で印刷し、各自の履修計画どおりに履修登録されているか確認を行います。

履修確認の結果、履修計画どおり登録できなかつたり、受講調整による履修不許可であったり、エラー科目があつたりする場合は、訂正期間内に訂正を行います。なお、履修登録期間内に履修登録していないと訂正を行うことができませんので、注意してください。

## (3) 履修登録キャンセル期間について

履修確認・訂正期間の後に、授業内容が学生自身の予想や理解と異なっていた理由等により当該科目の履修を取りやめたい場合は、「履修登録キャンセル期間」内に学務情報システムで手続きを行います。履修登録のキャンセル以外の手続きはできません。

履修登録のキャンセル手続きを行わずに履修を取りやめた場合は、その科目の成績は「不可」として取り扱われ、GPAの計算上不利になるので注意してください。

なお、第3ターム（夏季休業期間）と第6ターム（春季休業期間）における集中科目等の履修登録キャンセル期間は、別に設けられている場合がありますので、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

## (4) 補講の実施について

教養教育科目では、台風等気象警報の発令等による休講により生じた授業内容の不足分を補うため、科目担当教員の判断により授業開講日以外に補講を実施することがあります。補講の実施日及び時限等については、担当教員から別途連絡いたします。

## (5) 定期試験について

教養教育科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

試験は、原則としてセメスター科目、ターム科目ごとに定期試験期間を定めていますが、科目担当教員の判断により定期試験期間以外に行うことがあります。

### 3. 教養教育科目の履修手続き

教養教育科目の履修には、履修登録を行う必要があります。

履修登録の方法及び日程については、この履修案内のほか、所属学部のオリエンテーションまたは授業支援システム（LMS）等により連絡します。

#### (1) 受講調整

教養教育科目は、適正な授業運営や教育効果の向上、教室の収容能力により各授業科目に履修定員が設定され、履修学生数の上限を定めています。履修を希望する学生が当該授業科目の履修定員を上回る場合は受講調整を行います。事前に履修希望を申し出なかった学生（受講調整を実施する日に授業を欠席した者）は履修できません。

受講調整の詳細な情報は、授業支援システムで公表します。なお、必修科目の履修希望学生と4年次以上の履修希望学生が優先されることになります。

受講調整の結果は、翌週の授業の前日まで（月曜開講の科目は直前の金曜まで）に授業支援システムで発表します。受講調整を実施した科目は、受講を許可された学生しか履修登録できないので注意してください。

#### (2) 履修登録後の留意点

履修登録完了後（訂正期間後）は登録した科目の変更は認められません。学生自身が必ず学務情報システムから履修時間割表を印刷して内容を確実に確認してください。

履修確認・訂正期間後に本人の確認不足等を理由により履修登録科目の訂正を申し出ても認められません。

履修登録後、登録授業科目を履修しない場合（授業内容が予想や理解と異なっていた等）は、履修登録キャンセル期間中に履修科目のキャンセル手続きを行うことができます。手続きをしない場合は、当該授業科目の評価は「不可」となり、GPAの計算上不利になるので注意してください。

## IV. 教養教育科目の履修方法

### 1. 教養教育科目履修基準について

教養教育科目の履修基準（卒業に必要な修得すべき単位数）は、入学時に配付された「教養教育履修案内」及び所属学部の履修案内（履修手引）に定めており、その基準に従って履修しなければなりません。

### 2. 履修登録の上限

教養教育科目の履修登録は、春semester（第1ターム及び第2タームの合計）20単位、秋semester（第4ターム及び第5タームの合計）20単位が上限です。この上限を超えて履修登録はできません。また、総合科目については、春semester、秋semesterともに2単位ずつのみ受講できます。

ただし、英語で行われる授業科目にあっては、学部によっては履修登録の上限緩和が認められている場合があります。所属学部の学務担当窓口で確認してください。

この履修登録の上限には、夏季休業期間（第3ターム）及び春季休業期間（第6ターム）に開講する集中講義、別に掲示する集中・不定期開講科目は含まれません。

### 3. 教養教育科目の履修方法の一般的注意について

- ① 履修登録していない授業科目は履修できません。
- ② 同一時間帯に2つ以上の授業科目を履修登録できません。  
※理工学部では例外的に認める場合があります。授業支援システムで案内しますので確認してください。
- ③ 学科・課程・EP等(以下、学科等)(学士プログラム)においてクラス指定している授業科目は、原則として指定されたクラス以外の学生は履修できません。
- ④ 授業科目によっては、1つの授業科目に2名以上の教員が分担(オムニバス授業)することがあります。このような場合は全ての教員の授業を履修しなければ単位は修得できません。
- ⑤ 同じ名称の授業科目が複数開講されている科目(例えば「日本国憲法」等)は、異なる教員、異なる学期、曜日、時限であっても1つの授業科目として取り扱います。  
同じ名称の授業科目が複数開講されている場合は、クラス指定や別の指示がなければ、1つの授業科目のみを選択履修してください。
- ⑥ 休講、教室変更、試験通知等は、その都度授業支援システム(LMS)等によって案内しますので、常に確認してください。
- ⑦ その他不明な点は、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

### 4. 教養コア科目の履修について

開講科目に関する最新の情報や変更点は授業支援システム(LMS)等に掲示されますので、必ず確認してください。開講部局・対象学部の略称名、については、P17の注釈にて参照してください。備考についてはP17～P18の表を参照してください。

#### (1) 基礎科目 人文社会系科目(セメスター科目)

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101105	教育	GS.1181	秋	月	3	心理学A	高橋 幸子	2	【共通】	1~4	
9101106	教育	GS.1181	春	月	4	戦争文化論	白取 道博	2	【共通】	1~4	
9101107	教育	GS.1131	春	火	3	中国の古典文学	高芝 麻子	2	【共通】	1~4	
9101108	教育	GS.1141	春	木	3	日本前近代史	多和田 雅保	2	【共通】	1~4	
9101109	教育	GS.1131	春	月	2	日本の近代文学	一柳 廣孝	2	教育	1~4	
9101110	教育	GS.1131	春	木	3	日本の言語	古田 恵美子	2	【共通】	1~4	
9101111	教育	GS.1161	春	火	4	日本国憲法	米山 忠寛	2	【共通】	1~4	必1
9101112	教育	GS.1161	秋	火	4	日本国憲法	米山 忠寛	2	【共通】	1~4	必1
9101113	教育	GS.1121	秋	木	4	音楽と自然	島田 広	2	【共通】	1~4	
9101114	教育	GS.1121	春	月	4	色彩論	渡辺 邦夫	2	【共通】	1~4	地域
9101115	教育	GS.1141	春	木	3	ヨーロッパ近現代史	棚橋 信明	2	【共通】	1~4	
9101116	教育	GS.1181	秋	木	4	現代社会論	片岡 浩二	2	【共通】	1~4	
9101117	教育	GS.1121	春	火	3	美術の見かた	小池 研二	2	【共通】	1~4	
9101118	教育	GS.1181	春	木	4	心理学史	鈴木 朋子	2	【共通】	1~4	
9101119	教育	GS.1121	秋	火	3	鍵盤楽器の名曲	森野 かおり	2	【共通】	1~4	
9101126	教育	GS.1181	秋	木	3	家族生活と法	小沢 奈々	2	【共通】	1~4	
9101129	教育	GS.1121	秋	木	4	歌声研究—比較と実践—	伊藤 裕来	2	【共通】	1~4	
9101130	教育	GS.1121	春	木	3	絵画基礎表現	河内 啓成	2	【共通】	1~4	
9101131	教育	GS.1181	春	月	3	日本語教育から広がる世界	橋本 ゆかり	2	【共通】	1~4	
9101136	教育	GS.1121	春	月	2	歌の魅力	河野 克典	2	【共通】	1~4	
9101137	教育	GS.1191	春	月	4	学習の科学	鈴木 雅之	2	【共通】	1~4	
9101201	経済	GE.1171	春	月	3	現代の経済A	大濱 匠一	2	教・営・理・都	1~4	
9101202	経済	GE.1171	春	月	4	現代の経済A	鐘 嘉許	2	教・営・理・都	1~4	
9101203	経済	GE.1171	秋	木	4	現代の経済B	亀卦川 芽以	2	教・営・理・都	1~4	
9101204	経済	GE.1171	秋	木	1	現代の経済B	丹後 健人	2	教・営・理・都	1~4	

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101205	経済	GE.1161	秋	木	4	現代政治(国際)	川名 晋史	2	【共通】	1~4	
9101206	経済	GE.1161	秋	火	3	現代政治(日本)	内田 智	2	【共通】	1~4	
9101207	経済	GE.1171	秋	月	4	社会科学の方法	藤木 達也	2	【共通】	1~4	
9101208	経済	GE.1171	秋	月	3	社会科学の歴史	藤木 達也	2	【共通】	1~4	
9101209	経済	GE.1171	春	月	4	社会科学概論A	吉本 悠一	2	【共通】	1~4	
9101210	経済	GE.1171	春	月	2	社会科学概論B	吉本 悠一	2	【共通】	1~4	
9101305	経営	GB.1121	春	月	5	美術と社会	森山 緑	2	【共通】	1~4	
9101306	経営	GB.1141	秋	月	4	歴史	穴山 朝子	2	【共通】	1~4	
9101391	経営	GB.1131	春	金	6	国語・国文学Ⅰ	伊藤 高雄	2	【共通】	1~4	重2
9101392	経営	GB.1131	秋	金	6	国語・国文学Ⅱ	伊藤 高雄	2	【共通】	1~4	重2
9101393	経営	GB.1171	春	水	7	経済Ⅰ	中田 大悟	2	【共通】	1~4	重2
9101394	経営	GB.1171	秋	水	7	経済Ⅱ	中田 大悟	2	【共通】	1~4	重2
9101401	国社	GL.1161	春	金	4	日本国憲法	小久保 智淳	2	【共通】	1~4	必1
9101402	国社	GL.1161	秋	金	4	日本国憲法	小久保 智淳	2	【共通】	1~4	必1
9101403	国社	GL.1161	春	火	3	法学概論	竹内 明世	2	【共通】	1~4	
9101404	国社	GL.1161	春	月	2	現代社会と法	金子 章	2	【共通】	1~4	
9101405	国社	GL.1161	秋	木	3	社会の制度を考える	齋野 彦弥	2	【共通】	1~4	
9101406	国社	GL.1161	春	月	3	行政のしくみと法	友岡 史仁	2	【共通】	1~4	
9101601	都市	GU.1151	春	木	3	文化人類学の考え方	松本 尚之	2	【共通】	1~4	
9101603	都市	GU.1122	春	火	2	Cinema	カルパントラ, ファビアン	2	教・済・営・理	1~4	
9101604	都市	GU.1161	春	水	4	社会分析のための統計基礎	中島 有希大	2	【共通】	1~4	
9101605	都市	GU.1111	春	木	3	論理の哲学	松本 展明	2	【共通】	1~4	
9101606	都市	GU.1111	秋	木	4	宗教と社会	江川 純一	2	【共通】	1~4	
9101607	都市	GU.1111	秋	水	3	アジアの社会と思想	関 東曄	2	【共通】	1~4	
9101608	都市	GU.1121	秋	火	3	近現代芸術論	樽沼 範久	2	【共通】	1~4	
9101609	都市	GU.1121	春	金	3	超域芸術論	佐々木 匠	2	【共通】	1~4	
9101610	都市	GU.1121	秋	火	5	表象文化論	瀧 健太郎	2	【共通】	1~4	
9101611	都市	GU.1141	春	木	3	韓国朝鮮語と韓国朝鮮の歴史	辻 大和	2	【共通】	1~4	
9101803	高大セ(LLS)	GA.1111	第1	火	3	明日のための東洋思想入門Ⅰ	于 臣	1	【共通】	1~4	
9101804	高大セ(LLS)	GA.1111	第2	火	3	明日のための東洋思想入門Ⅱ	于 臣	1	【共通】	1~4	
9101805	高大セ(LLS)	GA.1161	秋	水	1	安全・リスクと法	石崎 由希子・笹岡 愛美	1	【共通】	1~4	
9103105	国際	GY.2722	春	金	2	Business Japanese Language and Culture A	松浦 光	2	【共通】	1~4	英語
9103106	国際	GY.2722	秋	金	2	Business Japanese Language and Culture B	松浦 光	2	【共通】	1~4	英語
9103111	国際	GY.2722	春	木	2	Legal Systems of the World and Japan	荒木 一郎	2	【共通】	2~4	

## (2) 基礎科目 自然科学系科目 (セメスター科目/ターム科目)

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102103	教育	GS.1271	春	木	4	気象学入門	新規採用(非常勤講師)	2	【共通】	1~4	
9102104	教育	GS.1211	春	火	3	線形代数学入門	茨木 貴徳	2	教・済・営・社	1~4	
9102107	教育	GS.1211	秋	火	3	JASPIによるデータ分析	山本 光	2	【共通】	1~4	
9102108	教育	GS.1211	秋	火	4	小学校プログラミング教育	山本 光	2	【共通】	1~4	
9102110	教育	GS.1221	秋	月	3	日常の中の物理	平島 由美子	2	教・済・営	1~4	
9102111	教育	GS.1231	秋	火	4	くらしの化学	古茂田 朋恵	2	【共通】	1~4	
9102112	教育	GS.1251	春	月	3	身近な電気と機械	坂本 智	2	【共通】	1~4	
9102301	経営	GB.1211	春	金	3	コンピューターで学ぶ統計学A	千島 昭宏	2	【共通】	1~4	
9102302	経営	GB.1211	秋	金	3	コンピューターで学ぶ統計学B	千島 昭宏	2	【共通】	1~4	
9102303	経営	GB.1231	秋	月	2	化学	矢ヶ部 重隆	2	教・済・営・社	1~4	
9102304	経営	GB.1211	春	火	3	統計学のための基礎数学	坂原 樹麗	2	教・済・営・社	1~4	
9102305	経営	GB.1211	春	木	3	統計学基礎	未定	2	教・済・営・社	1~4	必2
9102306	経営	GB.1211	秋	火	2	統計データ分析	本橋 永至	2	教・済・営・社	1~4	必2
9102307	経営	GB.2211	春	月	4	理工学のための統計学Ⅰ	辻 裕之	2	理・都	2~4	必3
9102308	経営	GB.2211	秋	月	4	理工学のための統計学Ⅱ	辻 裕之	2	理・都	2~4	必3
9102391	経営	GB.1211	春	木	6	数学Ⅰ	鈴木 香織	2	済・営	1~4	重2、重3
9102392	経営	GB.1211	秋	木	6	数学Ⅱ	鈴木 香織	2	済・営	1~4	重2、重4
9102505	理工	GR.1231	春	火	2	化学の世界A(物質観としての化学)	竹歳 絢子	2	教・済・営・社	1~4	
9102506	理工	GR.1231	春	月	3	化学の世界B(生活の化学)	鶴川 彰人	2	教・済・営・社	1~4	
9102507	理工	GR.1231	秋	月	2	化学の世界C(環境の化学)	真名垣 聡	2	教・済・営・社	1~4	
9102508	理工	GR.1231	秋	月	2	化学の世界D(生命の化学)	櫻村 吉晃	2	教・済・営・社	1~4	重5

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102511	理工	GR.1261	秋	木	4	情報科学	金田 徹	2	済・営	1~4	
9102512	理工	GR.1261	春	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1~4	重6
9102513	理工	GR.1261	春	木	4	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1~4	重6
9102514	理工	GR.1261	秋	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1~4	重6
9102515	理工	GR.1211	春	木	2	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教・済・営・社	1~4	
9102516	理工	GR.1211	春	木	3	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教・済・営・社	1~4	
9102517	理工	GR.1211	秋	木	2	数理科学Ⅱ	野間 淳	2	教・済・営・社	1~4	
9102518	理工	GR.1211	秋	木	3	数理科学Ⅱ	野間 淳	2	教・済・営・社	1~4	
9102520	理工	GR.1211	春	月	3	線形代数Ⅰ	田中 秀和	2	教・済・営・社	1~4	必6、重3
9102521	理工	GR.1211	春	月	4	線形代数Ⅰ	田中 秀和	2	済・営	1~4	必6、重3
9102522	理工	GR.1211	春	水	1	線形代数Ⅰ	小島 教知	2	経営	1~4	必6、重3
9102523	理工	GR.1211	秋	月	3	線形代数Ⅱ	田中 秀和	2	教・済・営・社	1~4	必6、重4
9102524	理工	GR.1211	秋	月	4	線形代数Ⅱ	田中 秀和	2	済・営	1~4	必6、重4
9102525	理工	GR.1211	秋	水	1	線形代数Ⅱ	小島 教知	2	経営	1~4	必6、重4
9102526	理工	GR.1211	春	木	1	微分積分Ⅰ	熊谷 駿	2	経済	1~4	必7
9102527	理工	GR.1211	春	木	2	微分積分Ⅰ	熊谷 駿	2	経済	1~4	必7
9102528	理工	GR.1211	春	金	1	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1~4	必7
9102529	理工	GR.1211	春	金	2	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1~4	必7
9102530	理工	GR.1211	秋	木	1	微分積分Ⅱ	熊谷 駿	2	経済	1~4	必7
9102531	理工	GR.1211	秋	木	2	微分積分Ⅱ	熊谷 駿	2	経済	1~4	必7
9102532	理工	GR.1211	秋	金	1	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1~4	必7
9102533	理工	GR.1211	秋	金	2	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1~4	必7
9102534	理工	GR.1221	春	木	5	物理の世界A	野村 高一	2	教・済・営・社	1~4	
9102535	理工	GR.1221	秋	木	5	物理の世界B	野村 高一	2	教・済・営・社	1~4	
9102542	理工	GR.1221	春	火	4-5	体験物理科学A	野村 高一・関谷 隆夫	2	教・済・営・社	1~4	
9102543	理工	GR.1221	秋	火	4-5	体験物理科学B	野村 高一・関谷 隆夫	2	教・済・営・社	1~4	
9102544	理工	GR.1231	春	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1~4	
9102545	理工	GR.1231	秋	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1~4	
9102546	理工	GR.1251	春	木	2	エネルギー工学序論	光島 重徳	2	【共通】	1~4	必4
9102547	理工	GR.1261	秋	月	4	コンピュータシステムとコミュニケーション	落合 秀樹・杉本 千佳・森 辰則	2	【共通】	1~4	
9102554	理工	GR.1241	秋	木	4	生命科学	平塚 和之・他	2	【共通】	1~4	重5
9102605	都市	GU.1221	第4	火	3	地球と惑星の科学Ⅰ	大河原 にい菜	1	【共通】	1~4	
9102606	都市	GU.1221	第5	火	3	地球と惑星の科学Ⅱ	大河原 にい菜	1	【共通】	1~4	
9102607	都市	GU.1241	第1	火	4	生物の世界Ⅰ	下出 信次・他	1	【共通】	1~4	
9102608	都市	GU.1241	第2	火	4	生物の世界Ⅱ	下出 信次・他	1	【共通】	1~4	
9102620	都市	GU.1271	第1	木	2	地球誕生のしくみ	石川 正弘	1	教・済・営	1~4	
9102621	都市	GU.1272	春	不定期		MAB/SDGsグローバル化演習Ⅰ	小池 文人・他	2	【共通】	1~4	重11
9102622	都市	GU.1272	秋	不定期		MAB/SDGsグローバル化演習Ⅱ	小池 文人・他	2	【共通】	1~4	重11
9102623	都市	GU.2272	春	水	4	MAB計画とSDGs	松田 裕之・クリュスナー=ゴット、ミゲル	2	教・済・営・理	1~4	
9102803	機器セ	GK.1251	春	月	2	物質と量子の相互作用 ～機器分析を始める前に	谷村 誠	2	【共通】	1~4	
9102804	高大セ(LLS)	GA.1291	第2	火	3	科学文章の書き方－悪文から学ぶ－	松本 真哉・権谷 佐織	1	【共通】	1~4	
9102805	高大セ(LLS)	GA.1291	第4	火	3	科学文章の書き方－悪文から学ぶ－	松本 真哉・権谷 佐織	1	【共通】	1~4	
9103112	国際	GY.2722	秋	火	2	ICT Literacy 1	徐 浩源	2	【共通】	1~4	
9103151	理工	GR.2722	秋	木	4	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	跡部 真人・窪田 好浩・児嶋 長次郎	2	【共通】	1~4	英語
9103152	理工	GR.2722	春	金	3	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	大野 かおる	2	【共通】	1~4	英語
9103153	理工	GR.2722	秋	金	4	Prospects of Mech Eng, Mater Sci and Ocean Eng	中野 健・佐藤 恭一	2	【共通】	1~4	英語
9103161	都市	GU.2722	春	火	6	Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	各教員	2	【共通】	1~4	英語

(3) 現代科目 (セメスター科目/ターム科目)

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101101	教育	GS.1181	春	月	3	教育学(教育と人間)	藤井 佳世	2	【共通】	1~4	
9101102	教育	GS.1181	春	月	4	教育学(教育と人間)	矢野 泉	2	【共通】	1~4	
9101103	教育	GS.1181	秋	月	2	教育学(教育と人間)	新谷 康浩	2	【共通】	1~4	
9101104	教育	GS.1181	秋	木	4	教育学(教育と人間)	橋高 佳恵	2	【共通】	1~4	
9101120	教育	GS.1181	秋	木	4	学校教育最前線	長沼 良志・小松 典子・星 秀之・青木 弘 塚田 京子	2	【共通】	1~4	
9101121	教育	GS.1181	春	不定期		学外活動(教育ボランティア)	鈴木 俊彰	2	【共通】	1~4	重1
9101122	教育	GS.1181	秋	不定期		学外活動(教育ボランティア)	鈴木 俊彰	2	【共通】	1~4	重1
9101123	教育	GS.1181	春	火	3	特別支援教育入門	雁丸 新一・他	2	【共通】	1~4	
9101124	教育	GS.1181	秋	火	3	特別支援教育入門	軍司 敦子・他	2	【共通】	1~4	
9101125	教育	GS.1181	秋	月	2	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	松葉口 玲子	2	【共通】	1~4	
9101127	教育	GS.1181	春	火	4	学校教育と子どもの発達・教師の成長	橋本 健弘・石丸 宗孝・藤原 寿幸・木原 裕二・中川 伸一	2	【共通】	1~4	
9101128	教育	GS.1181	秋	月	4	広くて深いカリキュラム(教育課程)論	金馬 国晴	2	済・営・理・都	1~4	
9101132	教育	GS.1181	秋	月	4	ジェンダーと教育	堀内 かおる	2	【共通】	1~4	
9101133	教育	GS.1181	秋	木	3	教育から見たSDGsと共生社会	後藤 隆章	2	【共通】	1~4	
9101134	教育	GS.1181	秋	火	4	これまでの学校教育・これからの学校教育	石塚 寿野中 隆一・松原 雅俊・水木 尚光・村上 唯斗	2	【共通】	1~4	
9101135	教育	GS.1181	春	集中		多文化共生のための教科横断STEAM教育	橋本 ゆかり・他	2	共通	3	
9101211	経済	GE.1141	秋	火	2	地域連携と都市再生B(かながわ地域学)	志村 真紀・池島 祥文・伊集 守直	2	教・済・営・理	1~4	地域
9101214	経済	GE.1171	春	月	5	デジタルトランスフォーメーション(DX)と社会	山崎 圭一	2	【共通】	1~4	
9101303	経営	GB.1171	秋	木	3	現代の物流経営	倉田 久	2	【共通】	1~4	地域
9101304	経営	GB.1171	春	金	2	現代の社会と会計	木村 晃久	2	教・済・理・都	1~4	
9101602	都市	GU.1181	春	月	2	人と動物の関係学	安藤 孝敏	2	【共通】	1~4	
9101701	国際	GJ.1141	秋	月	3	国際理解 日本語をめぐる国際交流史	小川 誉子美	2	【共通】	1~4	
9101702	国際	GJ.1131	秋	火	3	国際理解 国際交流における日本語の役割	半沢 千絵美・苑 一楠	2	【共通】	1~4	
9101703	国際	GJ.1131	春	月	3	日韓理解論I	金 庾昆	2	【共通】	1~4	
9101704	国際	GF.1141	春	木	3	古代ギリシアの神話と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1~4	
9101705	国際	GF.1141	秋	木	4	古代ローマの伝説と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1~4	
9101801	高大セ	GA.1141	春	木	4	横浜学--地域の再発見--	安野 舞子	2	【共通】	1~4	地域
9101802	高大セ	GA.1181	秋	木	4	人と動物の幸せな共生を考える	安野 舞子	2	【共通】	1~4	
9101806	リスクセ	GP.1181	秋	金	5	危機管理学	澁谷 忠弘	2	【共通】	1~4	
9101807	成長セ	GG.1171	春	火	4	アントレプレナー入門	為近 恵美	2	【共通】	1~4	
9101808	成長セ	GG.1171	秋	月	3	実践新商品企画	湯沢 雅人・為近 恵美	2	【共通】	1~4	
9101809	成長セ	GG.1171	春	火	3	経営者の役割と従業員の役割	湯沢 雅人・為近 恵美	2	【共通】	1~4	
9101810	成長セ	GG.1161	春	月	3	神奈川の暮らし	為近 恵美・望月 雅之	2	【共通】	1~4	地域
9101811	成長セ	GG.1171	秋	木	2	アート・マネジメント	永澤 桂	2	【共通】	1~4	地域
9102101	教育	GS.1281	秋	火	4	衣生活の科学	藤本 弥生	2	【共通】	1~4	
9102102	教育	GS.1281	春	木	4	おいしさの科学	杉山 久仁子	2	【共通】	1~4	
9102105	教育	GS.1281	春	火	4	居住環境論	佐桑 あずさ	2	【共通】	1~4	
9102106	教育	GS.1281	春	火	3	食育	大村 恵利・杉山 久仁子	2	【共通】	1~4	
9102501	理工	GR.1271	春	火	3	エネルギーと環境	大槻 貴司・辻 隆男	2	理工	1~4	地域
9102502	理工	GR.1271	春	木	3	エネルギーと環境	大槻 貴司・辻 隆男	2	教・済・営・都	1~4	地域
9102503	理工	GR.1271	春	木	3	安全・環境と社会	澁谷 忠弘・他	2	【共通】	1~4	地域、必4
9102504	理工	GR.1271	秋	木	4	応用気象学	宮本 佳明	2	【共通】	1~4	
9102509	理工	GR.1251	秋	月	5	科学技術史	庄司 高太	2	【共通】	1~4	
9102510	理工	GR.1251	春	月	2	海事技術史	南 清和	2	【共通】	1~4	地域、必5
9102519	理工	GR.1241	春	木	5	生態工学	目黒 伸一	2	【共通】	1~4	
9102548	理工	GR.1251	春	火	3	材料学入門	中尾 航・材料工学EP各教員	2	【共通】	1~4	必8
9102549	理工	GR.1251	春	火	5	材料学入門	中尾 航・材料工学EP各教員	2	【共通】	1~4	必8
9102555	理工	GR.1271	第2	火	3	環境リスクとつきあうII	中井 里史・本藤 祐樹	1	【共通】	1~4	
9102556	理工	GR.1251	春	火	1	身の回りの科学	荒牧 賢治・亀屋 隆志・雨宮 隆	2	【共通】	1~4	
9102557	理工	GR.1211	春	木	3	現代の数理科学C	中本 敦浩	2	【共通】	1~4	
9102601	都市	GU.1261	春	水	4	情報と社会	後藤 真	2	【共通】	1~4	
9102602	都市	GU.1271	秋	水	3	建築の環境と防災	杉本 訓祥・他	2	【共通】	1~4	地域、重7
9102604	都市	GU.1271	春	月	5	地域連携と都市再生A(ヨコハマ地域学)	志村 真紀・内海 宏	2	教・済・営・理	1~4	地域
9102610	都市	GU.1251	第4	金	2	土木史と文明 I	細田 暁	1	【共通】	1~4	重9
9102611	都市	GU.1251	第5	金	2	土木史と文明 II	細田 暁	1	【共通】	1~4	重9
9102613	都市	GU.1251	第1	火	4	国土学とグローバル社会 I	勝地 弘・他	1	【共通】	1~4	重9
9102614	都市	GU.1251	第2	火	4	国土学とグローバル社会 II	勝地 弘・他	1	【共通】	1~4	重9
9102615	都市	GU.1271	第1	火	3	環境リスクとつきあうI	中村 達夫・他	1	【共通】	1~4	



時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9102801	情報基盤セ	GI.1261	秋	月	3	情報セキュリティの基礎	志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9102802	情報基盤セ	GI.1261	春	火	3	情報ネットワークシステムの基礎	志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9102808	成長セ	GG.2251	秋	月	4	研究開発論－大学・企業・イノベーション	為近 恵美	2	【共通】	2~4	
9102809	保健管理セ	GH.1281	秋	水	4	健康の科学	大重 賢治・藤川 哲也・福栄 太郎・杉山 明子	2	【共通】	1~4	
9103071	国際	GQ.2711	春	水	6	パラグアイ事情	藤掛 洋子	2	【共通】	1~4	
9103072	国際	GJ.2711	第4	水	3-4	台湾事情	四方田 千恵・八木 はるな	2	【共通】	1~4	
9103073	国際	GJ.2711	春	火	4	韓国事情	金 蘭美	2	【共通】	1~4	
9103074	国際	GQ.2711	春	火	5	インドネシア事情	平野 恵子	2	【共通】	1~4	
9103075	国際	GQ.2711	第3	集中		グローバル人材と持続的開発: JICE連携講座	田名部 元成	2	【共通】	1~4	
9103076	国際	GQ.2711	通年	不定期		SXIP国際協働演習	中村 一穂・田名部 元成・マッコレー・アレクサンダー・前田 雄介・吉武 英昭・伊藤 暁彦・鈴木 淳史	2	済・営・理	1~4	
9103077	国際	GQ.2711	第1	火	4	中国事情 I	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	1~4	
9103078	国際	GQ.2711	第2	火	4	中国事情 II	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	1~4	
9103079	国際	GQ.2711	秋	水	5	チャイニーズ・スピーキングリージョンズ	新沼 雅代	2	【共通】	1~4	
9103081	高大セ(LLS)	GA.2711	秋	月	2	グローバル・シティズンシップ	金馬 国晴・山崎 圭一・山本 泰生・高橋 弘司・橋尾 恒隆・中村 栄子	2	【共通】	1~4	
9103082	高大セ(LLS)	GA.2711	秋	集中		現場から考える国際開発協力: JICA連携講座	小林 啓明	2	【共通】	1~4	
9103091	国際	GJ.1711	秋	月	3	日本事情 日本の就職事情	長谷川 健治	2	【共通】	1~4	留学1
9103092	国際	GJ.1711	春	月	3	日本事情 日本の企業システム	長谷川 健治	2	【共通】	1~4	留学2
9103101	国際	GY.2722	秋	火	3	Plagiarism and its Regulations	渡邊 知子	2	【共通】	1~4	英語
9103102	国際	GY.2722	春	火	3	Business Planning with Intellectual Property	渡邊 知子	2	【共通】	1~4	英語
9103107	国際	GY.2722	秋	金	3	Multiethnic Japan	長谷川 健治	2	【共通】	1~4	英語・重12
9103108	国際	GY.2722	秋	不定期		Multiethnic Japan (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	1~4	英語・重12
9103109	国際	GY.2722	春	金	3	Yokohama Studies	長谷川 健治	2	【共通】	1~4	英語・重13
9103110	国際	GY.2722	春	不定期		Yokohama Studies (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	1~4	英語・重13
9103113	国際	GY.2722	春	月	1	Globalization and Regional Economic Integration	モイナデン, ムスタファ	2	【共通】	1~4	
9103114	国際	GY.2722	秋	水	2	Technology Enabled Business	田名部 元成	2	教・理・都	1~4	重14
9103115	国際	GY.2722	第5	木	5-6	Multicultural Societies in Comparative Perspective	コンベル, ラドミール	2	【共通】	1~4	
9103116	国際	GY.2722	春	水	2	Culture and Identity in Contemporary Japan 1	山下 瑤子	2	【共通】	1~4	
9103117	国際	GY.2722	秋	木	2	Culture and Identity in Contemporary Japan 2	山下 瑤子	2	【共通】	1~4	
9103131	経営	GB.2722	春	火	3	CSR/CSV and Japanese Companies	近藤 久美子	2	【共通】	1~4	
9103901	国際	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy I A	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103902	国際	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy I A	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103903	国際	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy I B	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103904	国際	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy I B	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103905	国際	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy II A	未定	2	【共通】	1~4	英語
9103906	国際	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy II A	未定	2	【共通】	1~4	英語
9103907	国際	GY.2722	春	不定期		Practice in International Diplomacy II B	未定	2	【共通】	1~4	英語
9103908	国際	GY.2722	秋	不定期		Practice in International Diplomacy II B	未定	2	【共通】	1~4	英語
9103909	国際	GY.2722	春	不定期		Transcultural Practice in Overseas I	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103910	国際	GY.2722	秋	不定期		Transcultural Practice in Overseas I	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103911	国際	GY.2722	春	不定期		Transcultural Practice in Overseas II	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103912	国際	GY.2722	秋	不定期		Transcultural Practice in Overseas II	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103913	国際	GY.2722	春	不定期		International Volunteer I	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103914	国際	GY.2722	秋	不定期		International Volunteer I	未定	1	【共通】	1~4	英語
9103915	国際	GY.2722	春	不定期		International Volunteer II	未定	2	【共通】	1~4	英語
9103916	国際	GY.2722	秋	不定期		International Volunteer II	未定	2	【共通】	1~4	英語
9104021	経済	GE.2812	第1	水	2-3	Global Economy	余 瑛君	2	【共通】	2~4	重15
9104031	経営	GB.1811	秋	金	3	デモクラシー概論	飛田 綾子	2	【共通】	1~4	
9104051	理工	GR.1811	春	月	4	数理・データサイエンス・AI入門	上松 大輝	2	【共通】	1~4	
9104052	理工	GR.1811	春	月	5	数理・データサイエンス・AI入門	上松 大輝	2	【共通】	1~4	
9104053	理工	GR.1811	秋	月	4	数理・データサイエンス・AI入門	薬田 智香子	2	【共通】	1~4	
9104054	理工	GR.1811	秋	月	5	数理・データサイエンス・AI入門	広瀬 陽一	2	【共通】	1~4	
9104063	都市	GU.2811	第4	水	1	都市環境リスク共生論A	佐土原 聡	1	教・済・営・理	2~4	
9104081	情報基盤セ	GI.1811	第3	集中		数理・データサイエンス・AI入門	田名部 元成・山本 光・松井 和巳・志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9104082	情報基盤セ	GI.1811	第6	集中		数理・データサイエンス・AI入門	田名部 元成・山本 光・松井 和巳・志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9104083	高大セ(LLS)	GA.2811	秋	木	4	スキル向上につながる「英語」	小林 正佳	2	【共通】	1~4	
9104084	高大セ(LLS)	GA.2811	第4	水	6	理系学生のための企業法務入門1	芳賀 良	1	【共通】	1~4	
9104085	高大セ(LLS)	GA.2811	第5	水	6	理系学生のための企業法務入門2	芳賀 良	1	【共通】	1~4	
9104086	高大セ(LLS)	GA.2811	秋	水	3	里山でつなぐESD考	倉田 薫子	2	【共通】	1~4	
9104087	高大セ(LLS)	GA.2811	第2	水	6	「起業と法－研究成果を社会実装するために－」	芳賀 良	1	【共通】	1~4	
9104088	高大セ(LLS)	GA.2811	第4	木	1	都市科学を探求する	勝地 弘・藤掛 洋子	1	【共通】	1~4	



時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9104121	経済	GE.2821	春	火	3	数理統計	永井 圭二	2	【共通】	2~4	重15
9104201	高大セ(LLS)	GA.2831	春	月	3	横浜市における地球温暖化対策ワークショップ	松本 真哉・氏川 恵次	2	【共通】	1~4	
9104202	高大セ(LLS)	GA.2831	秋	金	1	多様性を尊重する成熟社会とその基盤	石崎 由希子	2	【共通】	1~4	
9104203	地域セ	GC.1831	春	不定期		地域課題実習Ⅰ	志村 真紀・他	1	【共通】	1~4	地域
9104204	地域セ	GC.1831	秋	不定期		地域課題実習Ⅱ	志村 真紀・他	1	【共通】	1~4	地域
9104205	地域セ	GC.2831	春	不定期		地域課題実習Ⅲ	志村 真紀・他	1	【共通】	2~4	地域
9104206	地域セ	GC.2831	秋	不定期		地域課題実習Ⅳ	志村 真紀・他	1	【共通】	2~4	地域
9104207	地域セ	GC.3831	春	不定期		地域課題実習Ⅴ	志村 真紀・他	1	【共通】	3~4	地域
9104208	地域セ	GC.3831	秋	不定期		地域課題実習Ⅵ	志村 真紀・他	1	【共通】	3~4	地域
9104221	経済	GE.3831	春	木	1	知的財産法	濱口 太久未	2	【共通】	3~4	重15
9104222	経済	GE.2831	秋	月	3	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	石原 健一	2	教・理・都	2~4	
9104231	経営	GB.3831	秋	木	2	国際イノベーションマネジメント論	大沼 雅也	2	教・理・都	3~4	
9104232	経営	GB.2831	春	火	2	技術経営論	真鍋 誠司	2	教・理・都	2~4	
9104233	経営	GB.2831	春	木	3	イノベーション・マネジメント概論	安本 雅典	2	【共通】	1~4	
9104261	都市	GU.2831	第4	木	3	地域・都市計画	松行 美帆子	1	【共通】	2~4	
9104301	高大セ	GA.2841	秋	月	3	ビジネス・コミュニケーション	市村 光之	2	【共通】	2~4	
9104302	高大セ	GA.3841	秋	木	4	キャリア・ケーススタディ	市村 光之	2	【共通】	2~4	
9104303	高大セ	GA.1841	春	水	2	Wake up! プロジェクト	市村 光之	2	【共通】	1	
9104306	高大セ	GA.1841	春	月	3	キャリアデザイン	市村 光之	2	【共通】	1~4	
9104307	高大セ	GA.2841	秋	水	3	グローバル化と日本人	市村 光之	2	【共通】	1~4	地域
9104308	高大セ(LLS)	GA.2841	春	火	1	「科学的思考」を武器にする	窪田 好浩	2	【共通】	1~4	
9104309	高大セ(LLS)	GA.2841	秋	水	2	「科学的思考」を武器にする	窪田 好浩	2	【共通】	1~4	

#### (4) 総合科目 (セメスター科目/ターム科目)

時間割コード	開講部局	ナンバリング	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9101212	経済	GE.1171	春	月	2	経済学の諸課題Ⅰ	出口 雄大	2	【共通】	1~4	
9101213	経済	GE.1171	秋	月	2	経済学の諸課題Ⅱ	藤生 源子	2	【共通】	1~4	
9101301	経営	GB.1171	春	火	5	経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	井上 徹・他	2	【共通】	1~4	
9101302	経営	GB.1171	秋	火	5	ベンチャーから学ぶマネジメント	井上 徹・他	2	【共通】	1~4	地域
9102109	教育	GS.1291	春	木	3	オリンピック・パラリンピックから考えるダイバーシティ	泉 真由子・高野 陽介	2	【共通】	1~4	
9102536	理工	GR.1251	秋	月	6	海洋工学と社会	海洋空間のシステムデザインEP各教員	2	【共通】	1~4	地域、必5
9102537	理工	GR.1251	秋	月	7	海洋工学と社会	海洋空間のシステムデザインEP各教員	2	【共通】	1~4	地域、必5
9102538	理工	GR.1251	春	水	1	機械工学と社会とのかわり合い	榎田 明宏	2	【共通】	1~4	
9102539	理工	GR.1251	春	水	4	機械工学と社会とのかわり合い	高藤 圭一郎	2	【共通】	1~4	
9102540	理工	GR.1251	春	火	5	物質工学と社会	金井 俊光・他	2	【共通】	1~4	地域、必4
9102541	理工	GR.1251	春	木	4	物質工学と社会	金井 俊光・他	2	【共通】	1~4	地域、必4
9102550	理工	GR.1211	秋	火	3	数理学概論	野間 淳・数理学EP各教員	2	【共通】	1~4	必9
9102551	理工	GR.1221	春	金	4	物理学概論	上原 政智・物理学EP各教員	2	【共通】	1~4	必10、必11
9102552	理工	GR.1261	春	金	3	電子情報システム概論	辻 隆男	2	【共通】	1~4	必10
9102553	理工	GR.1261	春	金	3	情報工学概論	長尾 智晴・情報工学EP各教員	2	【共通】	1~4	必10、必12
9102603	都市	GU.1271	秋	月	4	都市と建築	藤原 徹平・他	2	【共通】	1~4	重7
9102616	都市	GU.1271	第4	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅰ	酒井 暁子・他	1	【共通】	1~4	地域
9102617	都市	GU.1271	第5	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅱ	松田 裕之・他	1	【共通】	1~4	地域
9104061	都市	GU.2811	第4	火	4	都市科学B(リスク共生)	各教員	1	教・済・営・理	1~4	
9104062	都市	GU.2811	第5	火	4	都市科学C(イノベーション)	各教員	1	教・済・営・理	1~4	
9104064	都市	GU.2811	第2	金	5	都市科学A(グローバル・ローカル)	各教員	1	教・済・営・理	1~4	
9104151	理工	GR.2821	春	月	2	システム・エンジニアリング	藤井 友比呂	2	【共通】	1~4	地域
9104152	理工	GR.2821	秋	火	4	イノベーションと社会	平田 照二	2	【共通】	2~4	
9104251	理工	GR.2831	秋	木	3	工業経営	西原 利昭	2	【共通】	1~4	
9104310	ダイバーシティ	GD.2841	秋	水	3	ダイバーシティ&インクルージョン入門	高野 陽介・他	2	【共通】	1~4	

◆開講部局・対象学部

開講部局	対象学部	名称
教育	教	教育学部、教育人間科学部
経済	済	経済学部
経営	営	経営学部
国社		国際社会科学府
理工	理	理工学部
都市	都	都市科学部
	社	都市科学部都市社会共生学科
国際		国際戦略推進機構
高大セ		高大接続・全学教育推進センター
情報基盤セ		情報基盤センター
機器セ		機器分析センター
ダイバーシティ		ダイバーシティ戦略推進本部
リスクセ		リスク共生社会創造センター
地域セ		地域実践教育センター
成長セ		成長戦略研究センター
保健管理セ		保健管理センター
高大セ (LLS)		YNUリーディングレクチャーシリーズ

注釈 ◆備考：必 → 必修・選択必修 関係 (P19 参照) / 重 → 重複履修禁止 関係 (P61 参照)

必1	教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」2単位を必修とします。
必2	経営学部全学科の必修科目。
必3	理工学部「建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP」の選択必修科目。
必4	理工学部「化学・生命系学科」の準必修科目。
必5	理工学部「建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP」の必修科目。
必6	経営学部「会計・情報学科」「経営システム科学科」の必修科目。
必7	経営学部「経営学科」「会計・情報学科」「経営システム科学科」の必修科目。
必8	理工学部「材料工学EP」の必修科目。
必9	理工学部「数理科学EP」の必修科目。
必10	2014年度以前入学の理工学部「数理科学EP」の選択必修科目。
必11	理工学部「物理工学EP」の必修科目。
必12	理工学部「情報工学EP」の必修科目。
必13	理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤EP」の必修科目。
重1	この科目は教育職員免許状取得を希望しない学生は履修できません。 教育人間科学部の「学外活動・学外学習II」と重複して単位を取得することはできません。
重2	経営学部昼間主コースの学生は履修できません。
重3	「線型代数Ⅰ」「数学Ⅰ」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。
重4	「線型代数Ⅱ」「数学Ⅱ」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。
重5	「化学の世界D (生命の化学)」「生命科学」は、片方の科目のみ履修することができます。 すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。
重6	「図学Ⅰ」(専門基礎科目)と重複して単位を取得することはできません。 また、「図学Ⅰ」を開講していない学部及び学科を優先します。
重7	理工学部「建築都市・環境系学科建築EP」の学生は履修できません。
重8	理工学部生のみ履修することができます。「生物の社会」で再履修しない2016年度以前に履修した 学生は、基礎科目(自然科学系)から別の科目を選択してください。
重9	理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤EP」の学生は履修できません。
重10	理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤EP」の学生のみ履修できます。 他所属の学生で2016年度 以前に履修した学生は、現代科目から別の科目を選択してください。

重11	都市科学部「環境リスク共生学科」の学生は履修できません。 学部教育科目として同一科目が開講されますので、希望する場合はそちらを履修してください。 詳細は都市科学部履修案内で確認してください。
重12	「Multiethnic Japan」「Multiethnic Japan (Seminar)」は、同一学期内に同時履修することが必須です。 片方の科目だけを履修することはできません。
重13	「Yokohama Studies」「Yokohama Studies (Seminar)」は、同一学期内に同時履修することが必須です。 片方の科目だけを履修することはできません。
重14	経済学部及び経営学部の学生は履修できません。 経営学部における学部教育科目として同一科目が開講されますので、希望する場合はそちらを履修してください。 詳細は経済学部及び経営学部時間割表等で確認してください。
重15	経済学部・経営学部生には「専門教育科目」としても開講しています。 重複して履修することはできませんので、履修登録の際は注意してください。
地域	この科目は地域交流科目です。教養コア科目としても履修できます。地域交流科目については別冊子を確認してください。
英語	授業は英語で行われます。
留学1	この科目は留学生のみが履修可能です。
留学2	この科目は留学生対象の科目です。留学生以外で履修を希望する学生は、別途案内を確認してください

### (5) ターム科目の履修方法

教養コア科目は、原則としてセメスター科目（2単位）として開講されますが、一部の科目がターム科目（1単位）として開講されます。

教養コア科目のターム科目は、春学期「第1タームと第2タームの連続開講（セット科目）」、秋学期「第4タームと第5タームの連続開講（セット科目）」を奨励していますが単位認定は別々に行われます。

例えば、生物の世界Ⅰ（第1ターム1単位）、生物の世界Ⅱ（第2ターム1単位）の2科目をセットで履修（2ターム連続履修）した場合、ターム科目は各々が独立した授業科目なので別々に単位認定が行われます。

なお、定期試験等の結果により、一方の授業科目が「不可」になる場合があります。再履修する場合は、次年度に当該授業科目のみ再履修してください。

また、第2及び第5ターム科目の履修登録キャンセル期間は、セメスター科目と異なっていますので必ず確認してください。

#### 4. 情報リテラシー科目の履修について

情報リテラシー科目はそれぞれの学部、学科（EP）、課程のカリキュラムに基づいて実施されていますので、自分の所属の科目を履修してください。

科目名	単位	学期	履修学年	対象学部	必修	備考
コンピューティング	2	春・秋	1	教育人間科学部	○	
コンピュータ・リテラシー	2	春	1～4	経済学部		
データ解析演習	2	秋	1～4	経済学部		
コンピューティング演習	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
コンピュータ科学入門	2	春	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
コンピューティング	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
化学・生命情報処理演習	1	秋	1	理工学部化学・生命系学科化学EP／化学応用EP	○	
バイオ情報演習	1	秋	1	理工学部化学・生命系学科バイオEP	○	
シミュレーションのための情報リテラシー	2	第2	2	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP	○	
数値情報処理Ⅰ	2	秋	1	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
数値情報処理Ⅱ	2	春	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
自然環境情報処理	2	第4	1	理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP	○	
数理科学のための情報リテラシー	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
プログラミング実習A	1	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
プログラミング実習B	1	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
情報リテラシ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP／情報工学EP	○	

## 5. 基礎演習科目の履修について

基礎演習科目はそれぞれの学部、学科（EP）、課程のカリキュラムに基づいて実施されていますので、自分の所属の科目を履修してください。

科目名	単位	学期	履修学年	対象学部	必修	備考
基礎演習	2	春	1	教育人間科学部学校教育課程	○	
教職入門	2	春	1	教育人間科学部学校教育課程	○	
基礎演習	2	集中	1	教育人間科学部人間文化課程	○	
基礎演習	2	春	1	経済学部		
基礎演習	2	秋	2	経営学部		※1
機械系の数学演習Ⅰ	1	春	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の数学演習Ⅱ	1	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の力学演習Ⅰ	1	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の力学演習Ⅱ	1	春	2	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
数学演習	2	春	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
物理学演習	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
化学・生命基礎演習A	1	秋前半	1	理工学部化学・生命系学科		
化学・生命基礎演習B	1	秋後半	1	理工学部化学・生命系学科		
都市基盤演習	1	春	1	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP		
土木応用数学	2	春	1	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP		
数学・力学演習Ⅰ	1	春	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
数学・力学演習Ⅱ	1	秋	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
自然環境学野外演習	2	春	1	理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP	○	
数理科学基礎演習Ⅰ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
数理科学基礎演習Ⅱ	2	秋	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
物理数学基礎演習 A	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
物理数学基礎演習 B	2	秋	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
電気数学Ⅰ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP	○	
電気数学Ⅱ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP	○	

※1 講義要目については2年次春学期に配布する別冊子「基礎演習・ゼミナールの手引」を参照してください。

## 6. 授業科目名変更等に伴う重複履修の禁止科目について

次の表の「2023年度開講授業科目」欄の授業科目に対し、右に掲げる授業科目を既に履修した者は、既にその科目を履修していることから重複履修できません。

番号	開講部局	2023年度開講授業科目	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目	直近年度
1	教育	学校教育最前線（現代科目）	学校教育最前線（総合科目）	-2013
2	教育	教育から見たSDGsと共生社会	障害者とともに考えるSDGsと共生社会	-2021
3	教育	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	消費社会と共有	-2016
4	教育	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	ESD（持続可能発展教育）入門	-2017
5	教育	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	ESD（持続可能な開発のための教育）と消費者教育	-2021
6	教育	オリンピック・パラリンピックから考えるダイバーシティ	2020年東京オリンピック・パラリンピックと共生社会	-2019
7	経済	地域連携と都市再生B（かながわ地域学）	地域連携と都市再生B	-2014
8	経営	美術と社会	美学及び美術史Ⅰ	-2019
9	経営	美術と社会	美学及び美術史Ⅱ	-2019
10	経営	歴史	歴史Ⅰ	-2019
11	経営	歴史	歴史Ⅱ	-2019
12	経営	統計学のための基礎数学	統計学Ⅰ-B	-2020
13	経営	統計学のための基礎数学	統計学Ⅱ-B	-2020
14	経営	化学	化学Ⅰ	-2019
15	経営	化学	化学Ⅱ	-2019
16	経営	デモクラシー概論	社会科学概論Ⅰ	-2020
17	経営	デモクラシー概論	社会科学概論Ⅱ	-2020
18	経営	国際イノベーションマネジメント論	グローバル・イノベーション・マネジメント論Ⅰ<経営学部教育科目/専門科目>	-2020
19	経営	技術経営論	比較技術経営論Ⅰ<経営学部教育/専門科目>	-2020
20	経営	統計学基礎	統計学Ⅰ-A	-2022
21	経営	統計データ分析	統計学Ⅱ-A	-2022
22	経営	理工学のための統計学Ⅰ	統計学Ⅰ-C	-2022
23	経営	理工学のための統計学Ⅱ	統計学Ⅱ-C	-2022
24	国社	現代社会と法	現代と法	-2020
25	国社	社会の制度を考える	法と人間	-2020
26	理工	化学の世界D（生命の化学）	生命科学	-2021
27	理工	生命科学	化学の世界D（生命の化学）	-2021
28	理工	図形科学	図学Ⅰ<理工学部専門基礎科目>	-2016
29	理工	環境リスクとつきあうⅡ	環境リスクとつきあう	-2016
30	理工	Prospects of Mech Eng, Mater Sci and Ocean Eng	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci（国際交流科目）	-2014
31	理工	Prospects of Mech Eng, Mater Sci and Ocean Eng	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci<YCCS専門>	-2015
32	理工	Prospects of Mech Eng, Mater Sci and Ocean Eng	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	-2020
33	都市	論理の哲学	哲学	-2020
34	都市	宗教と社会	宗教学	-2020
35	都市	アジアの社会と思想	東洋思想史	-2020
36	都市	近現代芸術論	現代芸術論	-2020
37	都市	地球と惑星の科学Ⅰ	地球と惑星の科学	-2016
38	都市	地球と惑星の科学Ⅱ	地球と惑星の科学	-2016
39	都市	生物の世界Ⅰ	生物の社会	-2016
40	都市	生物の世界Ⅱ	生物の社会	-2016
41	都市	土木史と文明Ⅰ	土木史と技術者倫理	-2016
42	都市	土木史と文明Ⅱ	土木史と技術者倫理	-2016
43	都市	国土学とグローバル社会Ⅰ	土木工学と社会	-2016
44	都市	国土学とグローバル社会Ⅱ	土木工学と社会	-2016
45	都市	地球誕生のしくみ	地球科学<都市科学部学部教育科目>	-2020
46	都市	地球誕生のしくみ	地質学<理工学部学部教育科目>	-2020
47	都市	環境リスクとつきあうⅠ	環境リスクとつきあう	-2016
48	都市	環境をめぐる諸問題Ⅰ	環境をめぐる諸問題	-2016
49	都市	環境をめぐる諸問題Ⅱ	環境をめぐる諸問題	-2016
50	都市	地域連携と都市再生A（ヨコハマ地域学）	地域連携と都市再生A	-2014

授業科目名変更等に伴う重複履修の禁止科目について（続き）

番号	開講部局	2023年度開講授業科目	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目	直近年度
51	都市	Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci <YCCS専門>	-2015
52	都市	Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci	-2017
53	都市	都市科学A (グローバル・ローカル) (1単位)	都市科学A (グローバル・ローカル) (2単位)	-2020
54	都市	都市環境リスク共生論A	建築・地域環境計画Ⅰ <理工学部専門科目>	-2016
55	都市	地域・都市計画	都市計画と交通	-2020
56	国際	国際理解 国際交流における日本語の役割	国際理解1 (留學生支援入門)	-2014
57	国際	国際理解 国際交流における日本語の役割	国際学ⅡC: 国際交流史 <教育人間科学部専門教育科目>	-2015
58	国際	国際理解 日本語をめぐる国際交流史	国際理解12 (日本語をめぐる国際交流史)	-2015
59	国際	台湾事情	国際理解4 (台湾の文化と社会)	-2012
60	国際	台湾事情	国際理解 台湾の文化と社会	-2016
61	国際	韓国事情	国際理解4 (日韓比較文化論)	-2015
62	国際	韓国事情	国際理解 日韓比較文化論	-2016
63	国際	日本事情 日本の就職事情	日本事情H	-2016
64	国際	日本事情 日本の就職事情	日本事情 日本で働く	-2017
65	国際	日本事情 日本の企業システム	日本の企業システム (国際交流科目)	-2016
66	国際	Academic Presentation Skills	Academic Presentation Skills A	-2016
67	国際	Business Presentation Skills	Academic Presentation Skills B	-2016
68	国際	Business Japanese Language and Culture A	Business Japanese Language and Culture #2	-2016
69	国際	Business Japanese Language and Culture B	Business Japanese Language and Culture #3	-2016
70	国際	Multiethnic Japan	Community Studies	-2016
71	国際	Multiethnic Japan (Seminar)	Multicultural Team-works #1	-2016
72	国際	Yokohama Studies	Urban Dynamism of Yokohama	-2016
73	国際	Yokohama Studies (Seminar)	Multicultural Team-works #2	-2016
74	国際	Legal Systems of the World and Japan	World Legal Systems and Management Philosophy	-2020
75	国際	インドネシア事情(2単位)	インドネシア事情 (1単位)	-2022
76	国際	日本語演習B	日本語演習D	-2016
77	国際	日本語演習C	日本語演習E	-2016
78	高大セ	横浜学--地域の再発見-- (現代科目)	横浜学--地域の再発見-- (総合科目)	-2014
79	高大セ	キャリアデザイン	キャリアデザインA	-2015
80	高大セ	キャリアデザイン	キャリアデザインB	-2015
81	高大セ	グローバル化と日本人	グローバルビジネス・コミュニケーション	-2016
82	情報基盤セ	情報セキュリティの基礎	情報セキュリティ入門	-2019
83	情報基盤セ	情報ネットワークシステムの基礎	情報ネットワークシステム入門	-2019
84	機器セ	物質と量子の相互作用 ~機器分析を始める前に	先端機器分析入門	-2016
85	高大セ(LLS)	科学文章の書き方-悪文から学ぶ-(1単位)	科学文章の書き方-悪文から学ぶ-(2単位)	-2021
86	高大セ(LLS)	理系学生のための企業法務入門1	理系学生のための企業法務入門~はじめて学ぶ法務リテラシー	-2021
87	高大セ(LLS)	横浜市における地球温暖化対策ワークショップ	Zero Carbon Yokohama -文理融合・産官学民で考えるサステナビリティ-	-2019
88	高大セ(LLS)	多様性を尊重する成熟社会とその基盤 (2単位)	多様性を尊重する成熟社会とその基盤 (1単位)	-2020
89	ダイバーシティ	ダイバーシティ&インクルージョン入門	ダイバーシティ概論: ライフキャリアの多様性	-2022

## 7. 開講形態相違等に伴う重複履修の禁止科目について

本学で開講している科目には、科目名は同じであるが履修対象者によって全学教育科目か学部教育科目かなどの位置づけが異なるため、履修を制限している科目があります。次の表の「2023年度開講授業科目」欄の授業科目に対し、右のカテゴリー(<>)に掲げる授業科目を既に履修した者は、既にその科目を履修していることから重複履修できません。

番号	開講部局	2022年度開講授業科目(全学/教養教育科目)	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目	直近年度
1	経済	Global Economy	Global Economy<経済学部教育科目/専門科目>	-2021
2	経済	数理統計	数理統計<経済学部教育科目/専門科目>	-2021
3	経済	知的財産法	知的財産法<経済学部教育科目/専門科目>	-2021
4	経済	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ<経済学部教育科目/専門科目>	-2022
5	経済	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ<経営学部教育科目/専門科目>	-2022
6	経済	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	経営者が語るこれからの企業戦略と若者へのメッセージ<経済学部教育科目/専門科目>	-2019
7	経済	経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	経営者が語るこれからの企業戦略と若者へのメッセージ<経営学部教育科目/専門科目>	-2019
8	経営	国際イノベーションマネジメント論	国際イノベーションマネジメント論<経営学部教育科目/専門科目>	-2021
9	経営	技術経営論	技術経営論<経営学部教育科目/専門科目>	-2021
10	理工	電子情報システム概論	電子情報システム概論<理工学部教育科目>	-2020
11	理工	情報工学概論	情報工学概論<理工学部教育科目>	-2019
12	理工	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci (国際交流科目)<YCCS専門>	-2014
13	理工	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci<YCCS専門>	-2015
14	理工	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci<YCCS専門>	-2015
15	理工	工業経営	工業経営<理工学部教育科目/専門科目>	-2021
16	国際	Plagiarism and its Regulations	Plagiarism and its Regulations<YCCS専門>	-2015
17	国際	Technology Enabled Business	Technology Enabled Business (国際交流科目)	-2021
18	国際	Technology Enabled Business	Technology Enabled Business<経営学部教育科目/専門科目>	-2021
19	国際	Technology Enabled Business	Technology Enabled Business<YCCS専門>	-2021

## 8. 外国語科目の履修について

外国語科目の履修基準は、所属学部・入学年次によって異なりますので、入学時に配付された「教養教育履修案内」及び所属学部の履修案内(履修手引)を確認してください。

### (1) 英語科目

#### ①英語実習1

全学教育システム改革に伴い、2017年度から開講科目が変更となりました。(再)履修の対応科目は下記の「(注)英語実習1の(再)履修について」を確認してください。

#### (注) 英語実習1の(再)履修について

英語実習1を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修するクラスは抽選によって決まります。抽選の方法については、英語教育部から別途掲示がありますので、確認の上抽選に申し込み、当選後必ず履修登録してください。

不合格または未履修の科目

→

(再)履修対応科目

英語実習 1S

→

英語プレゼンテーション

英語実習 1W

→

英語ライティング

英語実習 1LR (春学期・秋学期)

→

再履修用英語実習 1LR (春学期・秋学期) ※



※例外として、2017年度から開講された「自立英語」「英語 LR」の履修を認められることがあります。「自立英語」「英語 LR」の受講を希望する場合は、英語教育部に相談してください。

## ②英語実習 2

英語実習 2 は経営学部、理工学部の 2 年次生以上が履修します。英語実習 2 では、「英語実習 2SW」と「英語実習 2LR」を履修します。なお、英語実習 1 の中で不合格または未履修の科目があっても英語実習 2 を履修することはできます。

### (注) 英語実習 2 の (再) 履修について

英語実習 2LR、英語実習 2SW は英語実習 2 に統合されます。2LR、2SW ともに履修が必要な場合には、春学期の英語演習 2 と秋学期の英語実習 2 を両方履修してください。春学期と秋学期で学習内容は異なります。

## ③英語演習

各学部で履修する科目、クラスが異なります。なお、英語実習の中で不合格または未履修の科目があっても英語演習を履修することはできます。

### (ア) 教育人間科学部

全学教育システム改革に伴い、2018 年度から開講科目が変更となりました。(再) 履修の対応科目は下記の「(注) 英語演習 (教育人間科学部) の (再) 履修について」を確認してください。

### (注) 英語演習 (教育人間科学部) の (再) 履修について

2017 年度まで開講されていた「英語演習」、2013 年まで選抜クラスに所属 1 年次生向けに開講されていた「英語演習 (LR/SW)」を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修を希望する場合は、履修登録期間中に英語教育部 (高大接続・全学教育推進センター S5-2/201 室) に問い合わせてください。取得している TOEFL-ITP のスコアや全体の履修状況によっては、希望するクラスが履修できないこともあります。

不合格または未履修の科目	→	(再)履修対応科目
英語演習 / 英語演習 (LR/SW)	→	英語演習 1a / 英語演習 1b / 英語演習 1c

### (イ) 経済学部

1 年次に英語実習 (または「英語実習 Advanced」) を履修した学生は、2 年次以降に英語演習を履修できます。

1 年次に英語実習を履修した学生は、「英語演習 ADW (Academic Discussion and Writing)」及び「英語演習 ARL (Academic Reading and Listening)」を履修します (合計 4 単位)。各技能でクラス分けを行います。クラスの発表は 4 月上旬に経済学部の授業支援システムにて行います。ただし、1 年次英語統一テストの結果により指定された学生は「英語演習 Advanced β」を受講します (合計 4 単位)。

1 年次に「英語実習 Advanced」を履修した学生は「英語演習 Advanced α」を受講します (合計 4 単位)。

英語科目を実習（4科目4単位）及び演習（2科目4単位）の合計8単位を超えて上限の12単位まで履修する場合には「英語演習 EXT」（プラクティカルな実力向上ではなく、英語や英語圏の文化に関する教養・理解を深めるためのクラス）を3年次以降に（2科目4単位をセットとして）履修します。

「英語演習 EXT」は、英語実習及び英語演習の合計8単位を修得した場合（Advancedクラス受講者はAdvancedクラスを含めた実習及び演習の8単位を修得した場合）にのみ卒業に必要な単位となりますので注意してください。

全学部対象の英語演習は、「英語演習 ADW」、「英語演習 ARL」、「英語演習 EXT」のいずれかに代替できます。取得している TOEFL-ITP のスコアや全体の履修状況によっては、希望するクラスが履修できないこともあります。

経済学部が許可する学生に限り、英語演習 Advanced クラスを3年次以降に履修して英語科目を合計12単位まで修得することもできます。希望者は、事前に経済学部担当の社会科学系事務部経済学務係に照会してください。

#### 英語演習の適正履修開始年次について

	1年	2年	3年	4年
英語演習ADW/ARL		○		
英語演習Advanced α		▲※1	▲※3	
英語演習Advanced β		▲※2	▲※3	
英語演習EXT			▲※4	

○：Advancedクラス履修の学生を除く

▲※1：入学時にAdvancedクラスに指定された学生が2年次以降に履修できます。

▲※2：1年次の英語統一テスト成績によって指定された学生が2年次以降に履修できます。

▲※3：経済学部の許可を得た学生が英語を8単位を超えて履修する場合に履修できます。

（3年次以降に初めてAdvancedクラスを履修する場合、事前に経済学部担当の社会科学系事務部経済学務係に照会してください。）

▲※4：英語を8単位を超えて履修する場合に3年次時以降に履修できます。

（クラス指定はありません。2科目4単位をセットとして履修します。）

#### ◇「英語演習 ARL (Academic Reading and Listening)」

本科目は経済(学)およびビジネスに関連する英語について理解を深めスキルを向上させることを目的とする。内容は具体的には2本の柱からなり、授業時に経済(学)やビジネスに関する英文や映像を理解する学習や語彙増強のトレーニングを行うことと、英語自習システムを利用して主に TOEIC を念頭においた授業時間外学習を行うこととする。学期末試験は英語自習システムの TOEIC(R)L&R 模擬試験により行う。

#### ◇「英語演習 ADW (Academic Discussion and Writing)」

The Academic Discussion and Writing is a 2-credit course for 2nd year students in the College of Economics. In this course, students: (1) improve their spoken fluency through authentic interaction (2) develop academic essay-writing skills (3) increase their intercultural awareness through exploration of academic topics. Each week students are assigned reading homework. In class, the teacher guides them through a series of exercises to help them understand both the language forms used in the reading, and the cultural and academic content. Students are expected to do the homework, ask questions, and participate fully in class activities.

※1 経済学部の英語演習科目 (ARL・ADW・EXT) の代わりとして、全学部対象の英語演習を履修することが認められる場合があります。

※2 「英語演習 EXT」の代わりとして、例外的に英語教育部開講の「英語演習 1a／英語演習 1b／英語演習 1c」を履修することが認められる場合があります。希望者は、経済学部から出される指示に従って事前に経済学部担当の社会科学系事務部経済学務係で手続きを行ってください。指示の内容は経済学部の授業支援システムに学期初めに掲示します。許可を得ずに勝手に履修登録することはできませんので注意してください。

(ウ) 経営学部

経営学部開講の「英語演習」は、春学期（経営英語演習 A）または秋学期（経営英語演習 B）に1科目2単位を履修します。

履修者（再履修者を含む）は、必ず経営学部担当の社会科学系事務部経営学務係から出される指示に従ってください。指示の内容は経営学部の授業支援システムに学期初めまでに掲示します。また、学期の開講に先立って受講希望申請を受け付ける場合があります。指示に従わないで勝手に履修登録することはできませんので注意してください。

(エ) 理工学部

全学教育システム改革に伴い、2018年度から開講科目が変更となりました。（再）履修の対応科目は下記の「(注) 英語演習（理工学部）の（再）履修について」を確認してください。

**(注) 英語演習（理工学部）の（再）履修について**

2017年度まで開講されていた「英語演習」を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修を希望する場合は、履修登録期間中に英語教育部（高大接続・全学教育推進センターS5-2/201室）に問い合わせてください。取得している TOEFL-ITP のスコアや全体の履修状況によっては、希望するクラスが履修できないこともあります。

不合格または未履修の科目	→	(再)履修対応科目
英語演習	→	英語演習 1a／英語演習 1b／英語演習 1c

(オ) その他

上記の各学部対象の英語演習科目以外に、英語教育部が夏季休業期間に開講する「英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習」「TOEFL-iBT スピーキング対策演習」、YCCS プログラムが提供する「Academic Presentation Skills」「Business Presentation Skills」「Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Work」「Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Career」が英語演習科目として開講しています。各学部の単位の取扱いとしては、以下のとおりです。

教育人間科学部	英語教育部開講の「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。
---------	---

経済学部	経済学部開講の「英語演習 ADW」、「英語演習 ARL」、「英語演習 EXT」のいずれかとして代替できます。必ず事前に、経済学務係に相談し指示を受けてください。指示に従わず勝手に履修登録をすることはできませんので注意してください。
経営学部	経営学部開講の「英語演習」として代替できます。科目によって申請手続きが異なるので、経営学部履修案内で確認してください。
理工学部	英語実習の必修単位数以外の単位として取り扱われます。

#### ④検定英語科目

これら英語科目のほか、外部検定試験（TOEFL、TOEIC、IELTS 等）において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定英語科目があります。

検定英語科目の単位は、外国語科目の卒業に必要な単位には算入されません。ただし、教養教育科目の卒業に必要な単位数の合計には算入されます。また、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1 科目につき単位認定できるのは 1 回のみとなります。

また、検定英語科目は、春学期・秋学期の履修登録単位数の上限に含まれません。単位認定を希望する場合は所定の期日までに LMS にて申請書とスコア証明書類を提出してください。（学生自身で履修登録をする必要はありません。学期末に履修登録と成績登録の処理を一括で行います。）

経済学部および経営学部所属の学生は、学部独自の制度がありますので、この検定英語科目の制度は利用できません。学部独自の制度については各所属学部の履修案内を確認してください。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定英語 A	1	合格	TOEFL-ITP 550 点以上（英語演習 2b レベル）
検定英語 B	1		TOEFL-ITP 600 点以上（大学院留学レベル）

※ TOEFL-ITP 以外の外部検定試験スコアは前述したスコア換算表により取り扱います。

なお、TOEFL-ITP 600 点以上取得した場合は、検定英語 A および検定英語 B の 2 単位認定となります。

TOEFL-ITP 以外の外部検定試験の場合は、次のスコア換算表を基準にしてください。

TOEFL-ITP	TOEFL-iBT	TOEIC	IELTS	英検
430	—	410	—	準 2 級
450	45	445	4.5	2 級
500	61	590	5	2 級 A
520	68	645	5.5	—
550	80	730	6	準 1 級
600	100	880	7	1 級

※上表以外の外部検定試験の場合は英語教育部に問い合わせてください。

## (2) 初修外国語科目

### ①履修方法

初修外国語は、言語ごとに「〇〇語実習 1」「〇〇語実習 2」「〇〇語演習」を開設しています（ギリシア語とラテン語は実習科目のみ）。春学期開講の「実習 1」の単位を修得していない場合は、秋学期開講の「実習 2」を履修することはできません。

実習科目は、同一の外国語について、「〇〇語実習 1」+「〇〇語実習 2」の【1セット2単位】で履修しなければ、卒業に必要な外国語の単位に算入することができませんので、注意してください。ただし、ギリシア語及びラテン語は【1セット2単位】で履修する必要はありません。（ギリシア語とラテン語の単位の取扱いは学部ごとに異なります。）

演習科目は、「〇〇語実習 1」+「〇〇語実習 2」を【2セット4単位】修得していることが履修の条件です。

なお、全学教育システム改革に伴い、**2017年度から初修外国語の「a」「b」「会話」の区別はなくなりました（イスパニア語は「A」「B」）**。授業内容については、シラバスを確認してください。また、同一学期に同じ科目を複数履修する場合は、別の教員の授業でなければ履修することはできませんので、注意してください。

中国語とイスパニア語の（再）履修の対応科目は下記の「(注) 中国語の（再）履修について」「(注) イスパニア語の（再）履修について」を確認してください。

#### (注) 中国語の（再）履修について

中国語実習を未履修の者または再履修をする者は、2017年度から次の表に従って履修します。

不合格または未履修の科目	→	(再)履修対応科目
中国語実習 1a／中国語実習 1b	→	中国語実習 1 <sup>※1</sup>
中国語実習 2a／中国語実習 2b	→	中国語実習 2 <sup>※2</sup>

※1 「中国語実習 1a」の（再）履修は日本人担当の「中国語実習 1」、「中国語実習 1b」の（再）履修は外国人担当の「中国語実習 1」を履修することを基本とします。

※2 「中国語実習 2a」の（再）履修は日本人担当の「中国語実習 2」、「中国語実習 2b」の（再）履修は外国人担当の「中国語実習 2」を履修することを基本とします。

#### (注) イスパニア語の（再）履修について

イスパニア語実習・イスパニア語演習を未履修の者または再履修をする者は、2017年度から次の表に従って履修します。

不合格または未履修の科目	→	(再)履修対応科目
イスパニア語実習 1A／イスパニア語実習 1B	→	イスパニア語実習 1
イスパニア語実習 2A／イスパニア語実習 2B	→	イスパニア語実習 2
イスパニア語演習 A／イスパニア語演習 B	→	イスパニア語演習

## ②初修外国語のスピード履修

学部教育科目の時間割の関係、あるいは学びたい言語の開講クラスが少ない等の事情で、実習科目 4 科目の履修が困難な場合、条件を満たせば、「実習科目」を 4 単位修得していなくても、その言語の「〇〇語演習」を履修することができる「スピード履修」という制度があります。

希望する学生は、所定の期日までに学務・国際戦略部教育企画課全学教育係の授業支援システム（LMS）もしくは窓口に申請してください。

なお、実習 1 が 2 単位、実習 2 が 1 単位揃っている状況にあり、今後実習 2 を再履修して、演習まで進む予定の学生は、実習 2 を履修する秋学期の履修登録期間に学生センター（学務・国際戦略部教育企画課全学教育係）に相談してください。なお、同一言語に限ります。

## ③初修外国語のスキップ履修

本学に入学する前に初修外国語を学習した経験があるなど次の履修条件の一つを満たしている場合、初級レベル「実習科目」を履修せずに、中級レベル「演習科目」の「〇〇語演習」から「スキップ履修」することができます。ただし、スキップ履修した場合であっても、卒業に必要な初修外国語の単位数は変わりません。必要な数だけ演習科目を履修したり、次の④検定初修外国語科目を利用したりして、卒業に必要な単位数を満たしてください。

希望する学生は、所定の期日までに学務・国際戦略部教育企画課全学教育係の授業支援システム（LMS）もしくは窓口に申請してください。

種類	最低限必要な単位数	申請条件	レベルチェック テスト実施要否
スピード履修	1 セット 2 単位以上 実習 1：1 単位以上 実習 2：1 単位以上	1 セット 2 単位の成績内訳が「秀」又は「優」 例：実習 1「秀」＋ 実習 2「秀」 実習 1「秀」＋ 実習 2「優」 実習 1「優」＋ 実習 2「秀」 実習 1「優」＋ 実習 2「優」	言語担当教員の判断により、実施する 場合がある
スキップ履修	特になし	以下、①～③のいずれかに該当する学生の場合 ① 当該外国語の初級過程を高校その他の教育機関などで学習したことがあり、証明する文書（成績証明書、履修証明書、検定合格証明書※等）が提出できる学生 ② 大学入試共通テストで当該外国語を受験した学生 ③ 本学の当該外国語教員が実施する初級学力試験（レベルチェックテスト）に合格した学生	①、②については言語担当教員の判断により、実施する 場合がある  ③はレベルチェック テスト必須

※本学入学後に取得した外部検定試験でもスキップ履修の申請が可能です。

## ④検定初修外国語科目

外部検定試験において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定初修外国語科目があります。検定初修外国語科目の単位は、卒業に必要な初修外国語（英語以外の外国語）の単位に算入されます。ただし、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。

また、検定初修外国語科目は、春学期・秋学期の履修登録単位数の上限に含まれません。単位認定を希望する場合は所定の期日までに LMS にて申請書とスコア証明書類を提出してください。（学生自身で履修登録をする必要はありません。学期末に履修登録と成績登録の処理を一括で行います。）

なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1科目につき単位認定できるのは1回のみとなります。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定ドイツ語	2	合格	ドイツ語技能検定試験（ドイツ語学文学振興会）4級合格、またはドイツ語検定試験（ゲーテ・インスティトゥート）A2合格
検定フランス語	2		実用フランス語技能検定試験（フランス語教育振興協会）4級合格、または DELF（フランス国民教育省フランス語学習資格）A2合格
検定スペイン語	2		スペイン語技能検定（スペイン語技能検定委員会）5級合格、またはスペイン語認定証（セルバンテス文化センター東京）DELE A2合格
検定ロシア語	2		ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会／東京ロシア語学院）4級合格
検定中国語	2		中国語検定（HSK）3級合格、または中国語検定試験（日本中国語検定協会）準4級合格
検定朝鮮語	2		ハングル能力検定試験（ハングル能力検定協会）5級合格、または韓国語能力検定（韓国教育財団）1級合格

## 9. 健康スポーツ科目の履修について

### (1) 健康スポーツ科目の編成

学 部	授業科目名	単位	学期	履修年次	必修・選択別
教育人間科学部 学校教育課程	健康スポーツ演習 A	2	春または秋	1	必修科目
全学共通	健康スポーツ演習 B	2	春または秋	1～4	選択科目

※教育職員免許状取得希望学生は健康スポーツ演習 A または健康スポーツ演習 B（2単位）が必修となります。

※健康スポーツ演習 B について、教育人間科学部学校教育課程の履修年次は 2～4 年次とします。

### (2) 健康スポーツ演習の履修方法

#### ①健康スポーツ演習 A

健康スポーツ演習 A は、教育人間科学部学校教育課程 1 年次学生の必修科目とし、教育職員免許状取得における体育全般についての基礎的な知見の修得を目標とします。

演習科目は複数授業開設されており、その中から 1 つ授業を選択履修します。1 年次春セメスター（春学期）の最初に開講する授業オリエンテーションの際に説明します。

なお、授業オリエンテーションを欠席すると履修できないことがあるので注意してください。また、疾病または身体障がい等を理由として履修が困難な学生は、教育学部健康スポーツ教育担当窓口（教育学部第1研究棟 S3-2/110 室）に直接届け出て指示を受けてください。

## ②健康スポーツ演習 B

健康スポーツ演習 B は、すべての学部生の選択科目（全学共通）として、健全な心身の発育発達の保障と運動習慣の体得を目標とします。

演習科目は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）で定められた教養教育科目の履修基準に従って履修することになります。

### (3) 健康スポーツ演習 B の履修登録手続き

健康スポーツ演習 B は、適正な授業運営と教育効果の向上から履修学生数の制限を行います。履修登録を希望する学生は、各学期開講日から1週間内に開催されるオリエンテーションを受け、第一次登録をします。履修希望学生数が履修定員を超えた場合は抽選を行います。抽選に受かった学生は、やむをえない事情がない限り、必ず履修登録をすることとします。

抽選に外れた場合、もしくは新たな授業を希望する場合、開講 2 週目に各授業の開講場所において、第二次登録手続きをします。

なお、集中授業のオリエンテーションも開講 1 週目に行います。日時と場所は次の通りです。

第一次登録	授業開講 1 週目の開講時限 < 体育館 >
第二次登録	授業開講 2 週目の開講時限 < 各授業の開講場所 >
集中授業登録	授業開講 1 週目の水曜日 12:15~12:45 < 体育館 >

※第一次登録後の空き状況は、第二次登録前に各学部の授業支援システム（LMS）等に掲示します。

### (4) 健康スポーツ演習の履修上の注意

- ① 健康スポーツ演習は、科目の性格上、出席を特に重視しており、規定の出席回数に満たないときは、単位は認定されません。
- ② 再履修する場合は、同一名称の科目を履修すること。ただし、健康スポーツ演習 B においては、種目は問いません。



## 10. 留学生のための授業科目について

留学生が履修する授業科目として、日本語科目及び日本事情科目があります。授業科目の履修方法等については所属学部の学務担当係に、授業の内容については日本語教育部（国際教育センターS1-3）にお問い合わせください。

### (1) 日本語科目

日本語科目は、本学で学修するために必要な日本語力を育成する科目として、基本的な日本語力を育成する「実習科目」と、その実習科目を発展させて社会や研究生活に適した思考力・表現力を育成する「演習科目」があります。

すべての留学生は、入学時に「日本語プレイスメントテスト」を受け、日本語力のレベルにより「中級者」と「上級者」に判定されます。

	授業科目名	セメスター	単位	履修年次	履修上の注意
実習科目	日本語中級 A	春	1	1 年次	中級者向けクラスであり、上級者は履修できません。中級者は1年次春学期に履修してください。 ※日本語中級 I は第1ターム、日本語中級 J は第2タームに開講します。
	日本語中級 B				
	日本語中級 C				
	日本語中級 D				
	日本語中級 E				
	日本語中級 F				
	日本語中級 I				
	日本語中級 J				
	日本語中級 K				
	日本語中級 L				
演習科目	日本語演習 A	春秋	2	1 年次 ～4 年次	演習科目は1年次秋学期から履修できます。
	日本語演習 B				
	日本語演習 C				
	日本語演習 D				
	日本語演習 E				
	日本語演習 F				
	日本語演習 G				
	日本語演習 H				
	日本語演習 I				
	日本語演習 J				

#### ① 中級者の履修方法

中級者に判定された留学生は、日本語の実習科目のうち、1年次春学期のみ「日本語中級」を履修することができます。日本語力を高め、本学の学修をスムーズに進めるため、できる限り多くの日本語中級クラスの履修を強く奨励します。1年次秋学期からは「日本語上級」を履修することができます。「日本語演習」を履修することもできますが、「日本語上級」を履修してからの演習科目の履修を推奨します。「日本語上級」「日本語演習」は2年次以降も履修できます。

## ② 上級者の履修方法

上級者に判定された留学生は、「日本語中級」は履修できません。1年次春学期から「日本語上級」を履修することができます。1年次秋学期以降においては「日本語上級」のほか、「日本語演習」も履修することができます。「日本語上級」「日本語演習」は2年次以降も履修できます。

## ③ 演習科目の履修方法

「日本語演習」は1年次秋学期以降から履修できます。ただし、「日本語上級」を履修してからの演習科目の履修を奨励します。

## ④ 日本語科目の評価方法

日本語科目の評価は、小テスト、プレゼンテーション、中間の課題、 Semester (学期) 末の課題 (試験またはレポート) などを評価基準としています。評価方法は、各授業科目のシラバスで確認してください。

## ⑤ 外国語科目との代替措置

日本語科目を履修した場合、外国語科目に代替することができます。詳細は以下のとおりです。

学部	代替できる外国語と単位
教育人間科学部	1 外国語 8 単位以上に読替※
経済学部	1 外国語 12 単位以内に読替
経営学部	日本語実習科目 4 単位、日本語演習科目 2 単位、計 6 単位を英語以外の外国語へ読替※
理工学部	1 外国語へ読替

※教育人間科学部留学生は、教育職員免許状を取得する際は、日本語科目とは別の外国語科目について、それぞれの外国語科目の履修方法に従い、最低 4 単位履修して、合計 8 単位以上とする必要があります。

※経営学部留学生は、他の外国語を履修した場合でも、日本語レベル「上級者」は 6 単位、「中級者」は前述 6 単位に加え「日本語中級」4 単位の履修を推奨します。

## (2) 日本事情科目

日本事情科目は、現代科目において開講します。

科目	学期	単位	履修年次
日本事情 日本の企業システム	春	2	1 年次～4 年次
日本事情 日本の就職事情	秋	2	1 年次～4 年次

※「日本事情 日本の就職事情」は留学生のみが履修可能です。

## V. 教養教育科目の単位の認定

### 1. 定期試験について

#### (1) 定期試験

授業科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

教養教育科目の定期試験は、原則としてターム科目は第8週目に、セメスター科目は第16週目に、筆記試験により行います。なお、セメスター科目の第8週目は通常授業となります。

ただし、授業担当教員によっては、筆記試験とレポートを併用する、あるいは定期試験に代えてレポート等の提出や実技・演習等により行うことがあります。この場合は、指定された提出先へ所定の期間内に提出する必要があります。また、中間試験等を実施することもありますので、所属学部の授業支援システム(LMS)やWEBシラバス等を確認してください。

#### 定期試験期間

春学期	第1ターム 2023年 6月 2日(金) ~ 6月 8日(木) 春セメスター/第2ターム 2023年 7月 28日(金) ~ 8月 4日(金)
秋学期	第4ターム 2023年 11月 27日(月) ~ 12月 1日(金) 秋セメスター/第5ターム 2024年 2月 1日(木) ~ 2月 8日(木)

※第3ターム(夏季休業期間)、第6ターム(春季休業期間)は別に定める。

#### (2) 定期試験の実施方法・時間割発表

教養教育科目における定期試験実施に係る連絡事項は、定期試験期間開始の2週間前を目途に「授業支援システム」もしくは「所属学部の掲示板」で伝えます。試験時間割(試験教室)は、通常の授業時間割(講義教室)と異なることがありますので授業支援システム(LMS)等を必ず確認してください。

また、定期試験以外の試験については、授業中において発表し、特に掲示をしないことがありますので注意してください。

### 2. 定期試験の受験上の注意について

#### (1) 不正行為

定期試験において、不正行為(身代わり受験やカンニング等)を行い、学則による懲戒処分を受けた学生は、当該学期に履修した授業科目(当該学期に履修登録したセメスター科目及びターム科目)の単位がすべて無効となります。

#### (2) 学生証の提示

定期試験を受験する際は、必ず学生証を机上に提示してください。学生証を忘れた学生は受験することはできません。学生証の再発行は申請から7日後です。

忘れる、紛失等した場合は、「仮受験票」等を発行しますので、所属学部の学務担当係に申し出てください。

### (3) 試験室の入室等について

指定された試験室には、試験開始時刻前に入室し、原則として他の学生と隣り合わないよう、横に一人分のスペースを空けて、着席してください。また、科目担当教員により座席指定されている場合には、その指示に従って着席してください。

### (4) 定期試験時間中の所持品等について

筆記用具及びあらかじめ許可されたもの以外は、机の上に置くことはできません。

定期試験に必要としない所持品（筆箱や下敷きを含む。）等は、かばん等の中に入れ、机の下に置いてください。

特に携帯電話等電子端末は、電源を必ずオフにして、その他の所持品等と同様に、かばん等の中に入れてください。携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。

### (5) 遅刻者及び退出者の取り扱い

遅刻した学生は、特別な事情がある場合に限り、試験開始から 20 分までに入室した場合は受験が認められますが、20 分以上遅刻した学生は受験することができません。

また、試験開始から 30 分以上経過するまでは、試験室から途中退出することは認めていません。

### (6) その他の注意事項

試験の解答用紙には、学籍番号及び氏名その他必要な事項を明記してください。これらを記入していない答案は、無効となることがありますので注意してください。

定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生は、退席を命じることがあります。

これらのほか、定期試験の実施要領や受験上の注意事項について、所属学部の履修案内や授業支援システム（LMS）等を参照してください。

## 3. 追試験について

### (1) 追試験の事由

追試験とは、定期試験を次の（ア）～（エ）に該当する事由により受験できなかった場合は、当該授業科目について追試験の実施を申請することができます。

なお、本学では、再試験（何らかの事情により一度行った定期試験を最初からやり直すこと）は原則として行いません。

（ア）本人の疾病または負傷（医師の診断書を必要とする）

（イ）二親等以内の親族または同居の親族の死亡（事実を確認できる書類を必要とする）

（ウ）交通機関の著しい遅延・運休（事実を証明する書類を必要とする）

（エ）その他、学部長がやむを得ない理由があると認めたとき

### (2) 追試験の申請手続き

追試験を申請する場合は、当該定期試験期間終了日の翌日 17 時までに、所属学部の学務担当係まで「追試験申請書」と併せて必要書類を提出してください（E メール申請可、代理人申請可）。

### (3) 追試験の実施方法

追試験は、当該定期試験期間終了後、速やかに実施します。

なお、追試験の実施方法は、科目担当教員が指定する方法とします。

## 4. 授業科目の成績評価について

### (1) 成績評価の基準と方法

授業科目の成績は、全学統一の成績評価の基準に基づき、WEB シラバスに記載された成績評価の方法によって総合判定し、成績評語（グレード）を「秀・優・良・可・不可」の5段階で表すとともに、それぞれの授業科目の評語に対して GP（Grade Point）を与えます。ただし、5段階の成績評価が難しい授業科目は「合格・不合格」で表すとともに、GP（Grade Point）を与えません。

授業科目の単位は、「秀・優・良・可・合格」を修得した学生に対して授与されます。

#### 成績評価の基準

評語	成績評価の基準	GP	評価点
秀	履修目標を越えて主体的に学修したと認められるレベルを達成している	4.5	100－90点
優	履修目標を達成している	4	89－80点
良	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している	3	79－70点
可	到達目標を達成している	2	69－60点
不可	到達目標を達成していない	0	59－0点

※評価点はシラバスに記載する「成績評価の基準」によって科目担当教員が算出している点数であり、必ずしも定期試験等の点数と同じではありません。



### (2) GPA 制度と卒業要件

本学は GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPA とは、学生が履修した授業科目の成績評価に対する GP（Grade Point）に当該科目の単位数を掛け、その総和を履修登録科目の総単位数で除して算出されます。

#### GPA 計算式

$$\text{GPA} = \frac{\sum (\text{GP} \times \text{単位数})}{\text{履修登録単位数}}$$

本学の卒業要件は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が定める卒業に必要な修得すべき単位数以上の修得要件等に加え、GPA2.0 以上を満たす必要があります。例えば、必要以上に授業科目を履修

し、単位を修得できない場合は、GPA が下がることとなりますので、無理がなく十分な学修時間が確保できるよう履修計画をたてる必要があります。

なお、学士プログラムによっては、GPA に算定されない授業科目があります。詳細は所属学部の履修案内（履修手引）を必ず確認してください。

### （3）再履修制度

単位修得した授業科目の再履修は認めていませんが、履修の結果「不可」「不合格」の成績である場合には再履修が認められます。

再履修した場合の成績は、再履修後の成績に置き換えられます。

科目区分	再履修科目
基礎科目（人文社会系）	同一名称の科目を履修すること。 ただし、同一名称の科目が開講されていない場合、同一科目区分（人文社会系・自然科学系・現代科目）の未修得科目の中から自由選択。
基礎科目（自然科学系）	
現代科目	
総合科目	総合科目の中から自由選択。
情報リテラシー科目	同一名称の科目を履修すること。
基礎演習科目	
外国語科目	それぞれの科目の履修方法を参照。
健康スポーツ科目	

### （4）成績の自己管理

卒業するまでの学業成績、修得単位数と GPA は、学務情報システム及び YNU 学生ポートフォリオにより、成績の自己管理を正確に把握してください。

成績の自己管理を怠っていると、卒業に必要な修得すべき単位数や GPA の修得状況の勘違い等により、卒業できない事態を招きかねませんので十分に確認してください。

### （5）成績に関する問い合わせ

教養教育科目の成績に関する問い合わせは、それぞれの責任開講部局ごとに成績確認期間が設けられます。詳細は各学部・教育企画課全学教育係の授業支援システム等を確認してください。なお、成績に関する問い合わせをする際は、個別成績表を必ず持参してください。

**Q：GPAは何を目的に導入しているのですか？**

A：本学は2013年度入学生からGPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPAは、欧米の大学で用いられ始め、今日では発展途上国を含め世界各国に広がっている国際的な成績評価システムです。日本では約8割（634）の大学で導入されています（2015年度時点で85%、文科省調べ）。学生のみなさんにとっての利点は、「YNU学生ポートフォリオ」とあわせて利用することにより、自分自身で学修成果を把握することが容易になることです。所属学部生のGPA成績分布図をみることができますので、あなた自身の位置を確認して、「学修意欲の向上」に是非役立ててください。またほとんどの海外の大学において、GPAは留学生を受け入れる際に必要な情報となっており、みなさんの海外留学の促進にも、役立っています。

所属学部の教員やスタッフも、みなさんの学修状況を数値的に把握することで、教育指導の向上を図っています。たとえば学年毎の成績最優秀者の選考ではGPAを重視していますので、この点でも勉学・研究の励みの1つとして活用してください。

**Q：学生が教員の研究室を訪ねていいですか？**

A：授業内容について質問があるときは、事前に教員に連絡してから研究室を訪ねてください。連絡先は、学内で学務情報システムを経由することで、WEBシラバスから調べることができます。また、研究者総覧からも調べることができます。

オフィスアワーを設定している教員の場合は、事前の連絡は不要です。

連絡先を公開していない、またオフィスアワーを設定していない教員の場合は、授業後に質問してください。

## VI. 学外や海外における授業科目の履修等

### 1. 修得単位の認定について

#### (1) 修得単位の認定とは

他大学や大学以外の教育機関等から修得した単位は、所属学部で認定することで、本学における修得単位として認定する制度です。

本制度を利用することにより、関連する専攻分野を深める、あるいは本学にない専攻分野を学ぶなど、学生の幅広い関心と興味に応じた履修の機会が広がります。

#### (2) 修得単位の認定単位について

修得単位の認定科目は、成績グレード（評語）は「認定」で表し、GP（Grade Point）は与えません。

### 2. 放送大学・横浜市内大学間単位互換制度の履修について

放送大学・横浜市内大学間単位互換制度とは、放送大学および横浜市内にある12の国公立大学が単位互換協定を結び、各大学が提供する授業科目を相互に履修できる制度です。所属学部での承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

本学が他大学履修できる大学は、放送大学、神奈川大学、関東学院大学、國學院大学、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜商科大学、横浜市立大学の12大学です。

横浜市内大学間単位互換制度は無料ですが、放送大学は1科目（2単位）につき、11,000円です。

横浜市内大学間単位互換制度で履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係または学生センター（学務・国際戦略部教育企画課全学教育係）に問い合わせてください。

### 3. 派遣留学先の授業科目の認定について

本学は、外国の大学等教育機関と学術交流協定を締結し、学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり、交流協定大学での授業履修により単位を修得した場合は、所属学部の承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

派遣留学により履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係に問い合わせてください。



## VII. YNU 学生ポートフォリオについて

学務情報システムには、皆さんが自分の学修成果を可視化するツールとして「YNU 学生ポートフォリオ」があります。YNU 学生ポートフォリオは、成績や学修成果（講義からの学び、日々の気づきの記録）などを入れておくことができるWEB 上の自分専用ファイルで、学業の改善や就職活動に活用できます。詳細は冊子「YNUリテラシー：アカデミック・リテラシー編」、または学務情報システムのトップページにある説明(PDF版)を参照してください。

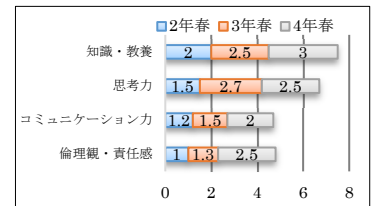
### (1) 履修登録前に学生プロフィールを入力する

毎学期、学期が始まったら、第1週目に学務情報システムから履修登録画面にアクセスし、学生プロフィールの入力を済ませてください。履修登録画面にアクセスすると、自動的にYNU 学生ポートフォリオの「学生プロフィール」画面が開きます。入力が完了しないと、履修登録画面に進みません。学生プロフィールの入力には1時間前後必要ですので、履修する科目を決める前に、あらかじめ学生プロフィールの入力を完了しておき、履修科目が決まったら、後日改めて履修登録画面にアクセスし履修登録するようにしてください。

新入生の春学期に入力する項目は、緊急連絡先、高校時代の学修・生活行動（チェックシート）、入学時に考えたこと（振り返りシート）の3つです。これらの入力内容はYNU 学生ポートフォリオに蓄積されますので、上級生になってから振り返って読み直し、あなたの成長の軌跡や立ち位置を確認するのに役立ちます。

### (2) 学生ポートフォリオの主要機能

**学務情報システム>ポートフォリオ>学士力チェック**：2年次以降、春学期の学生プロフィールには学士力の自己チェックがあります。本学のディプロマ・ポリシーにある「学修成果の目標」の《4つの実践的「知」》に基づき、成長度合いの自己チェック結果が表示されます。履修や学修計画の見直しに活用できます。



**学務情報システム>ポートフォリオ>就業力チェック**：1年次の秋学期以降、秋学期の学生プロフィールには就業力自己チェックがあります。論理的思考力、課題解決力、交渉力、協調性など、どんな職業に就いても共通に必要なとされる基礎的・汎用的スキルの自己チェック結果が表示されます。強みを伸ばし、弱みを改善して、自己の成長の指標として活用してください。



**学務情報システム>ポートフォリオ>振り返りシート**：学業や学生生活からの学びを記録し、あなた自身で学業や学生生活、将来を構想するためのページです。学士力や就業力の自己チェック結果のグラフや、次項にある過去の履修科目や成績などを参照しながら記入してください。これらの記録は、就職活動の際にはエントリーシート作成等にも活用できます。

### (3) 学生ポートフォリオに関連する機能

**学務情報システム>履修・成績情報>成績統計**：自分のGPAと共に学部全体のGPA分布図を確認できます。

**学務情報システム>履修・成績情報>各種語学試験結果**：学内で行われるTOEFL-ITPテストの結果を確認できます。

